

# 第4次「中川村男女共同参画計画」

## 延長のための意識調査

### 結果報告

令和5年3月

中川村

# 目次

## 第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的
2. 調査対象
3. 調査方法
4. 調査期間
5. 回収数及び回収率
6. 調査結果を見る上での注意事項

## 第2章 調査結果の詳細

1. 性別
2. 年齢
3. 職業
4. 婚姻
5. 家族構成
6. 男女平等
7. 性別役割分担の経験の有無
8. 家庭における性別役割分担意識の有無
9. 8の詳細
10. 職場における性別役割分担意識の有無
11. 10の詳細
12. 学校における性別役割分担意識の有無
13. 12の詳細
14. 共働き
15. 家事分担
16. 男性の育児休業
17. 女性の育児休業
18. 会社員等の職業を女性が持ち続けること
19. 農業や自営業の職業を女性が持ち続けること
20. 女性が家庭と仕事の両立に必要な労働環境や制度
21. 男性が家庭と仕事の両立に必要な労働環境や制度
- 22-1. 「仕事」「家庭生活」「地域活動」「個人の生活」で優先度が高いもの（理想）
- 22-2. 「仕事」「家庭生活」「地域活動」「個人の生活」で優先度が高いもの（現実）
23. 地区やPTA役員への女性進出
24. 地域活動や作業
25. 行政や方針決定の場に女性の参画が少ない現状について
26. 今後、行政が力を入れるべきこと
27. 介護

28. DV について
29. 女性の人権
30. 29 の詳細
31. 男性の人権
32. 31 の詳細
33. LGBTQ や性的マイノリティ
34. 性的マイノリティの方への取組
- 35-1. 村男女共同参画計画の推進について
- 35-2. その理由
36. 自由記述

# 第 1 章 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、現計画が本年度で終了することから、計画の一部見直しの基礎資料にするとともに、村民の男女共同参画への意識、実態の把握を目的として調査した。

## 2. 調査対象

令和4年4月1日現在中川村に居住する18歳から80歳代までの男女各500人(計1,000人)

## 3. 調査方法

郵送配布－郵送回収及びインターネットによる調査

## 4. 調査期間

令和5年2月1日(水)～令和5年2月28日(火)

## 5. 回収数及び回収率

- (1) 対象者数 1,000人 (女性：500人 男性：500人)
- (2) 有効回収数 408人 (女性：216人 男性：188人 回答しない：4人)
- (3) 有効回収率 40.8% (女性：43.2% 男性：37.6%)
- (4) 回答方法 紙アンケート：330(約81%) インターネット：78(約19%)

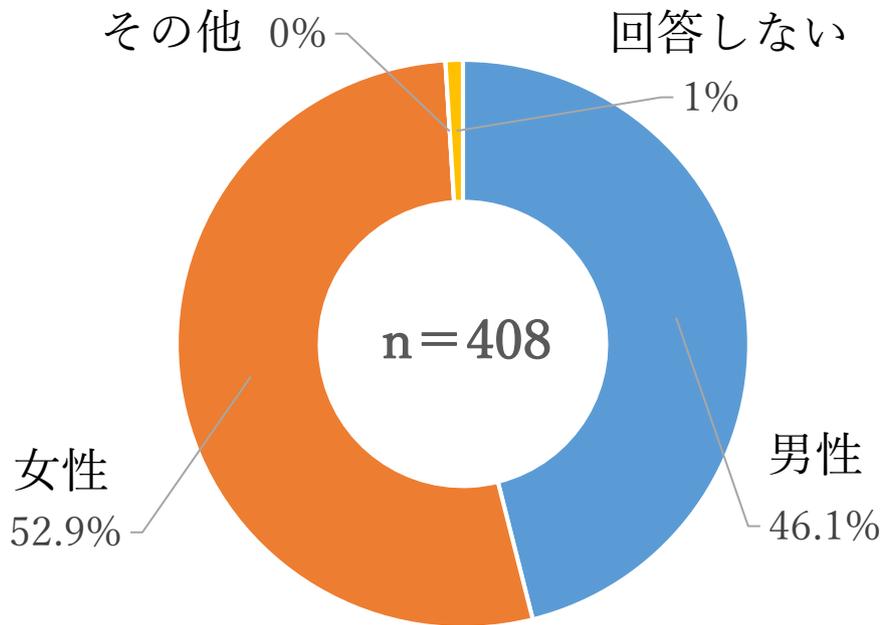
## 6. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

## 第2章 調査結果の詳細

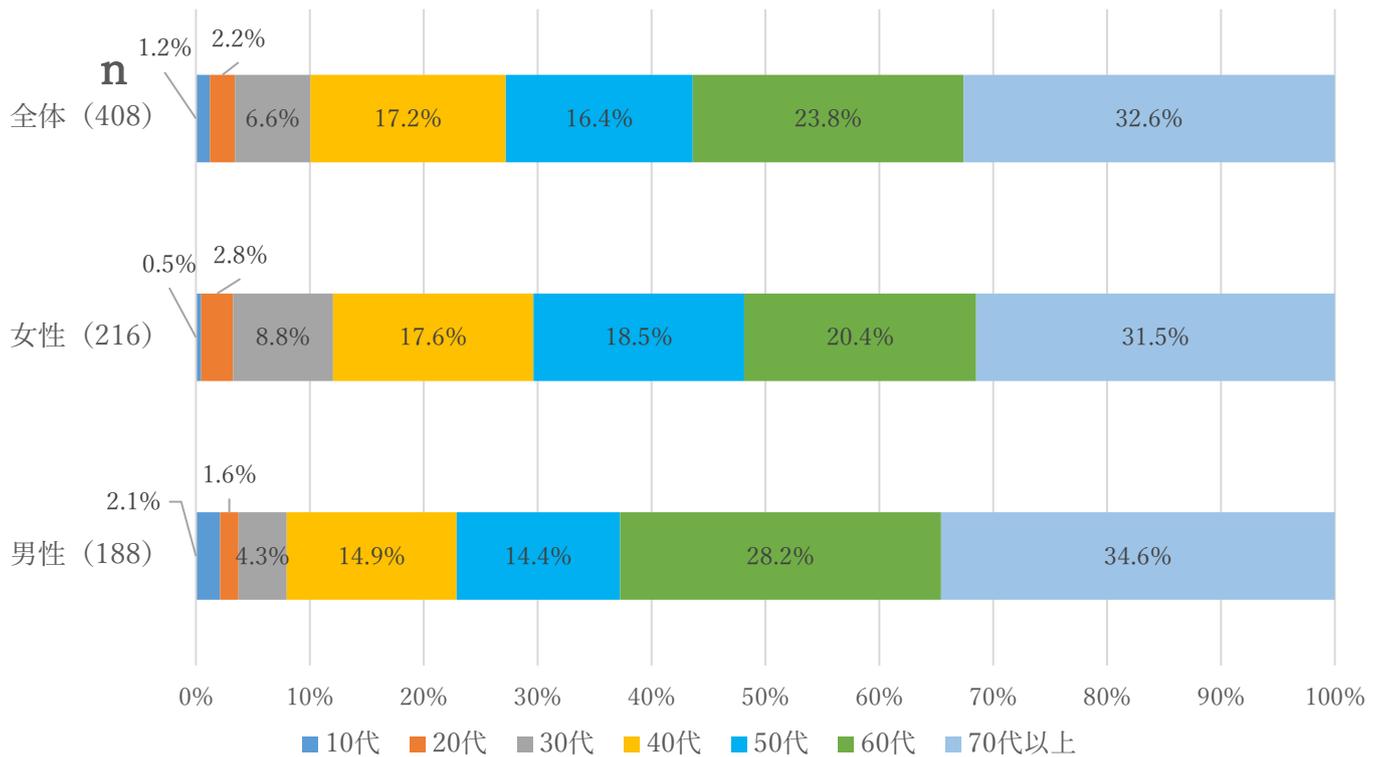
## 1. 性別

問1 あなたの性別は。



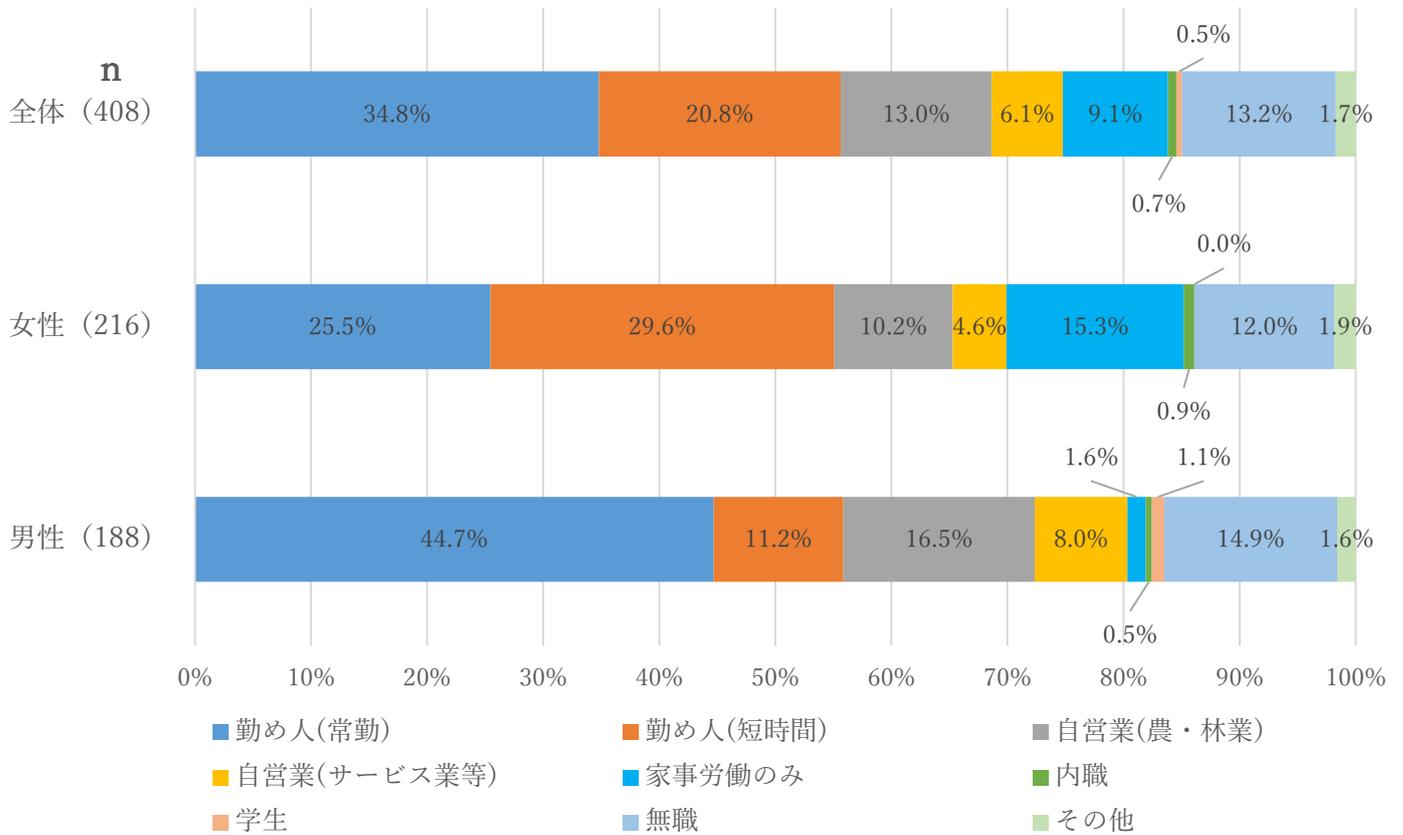
## 2. 年齢

問2 あなたの年齢は。



### 3. 職業

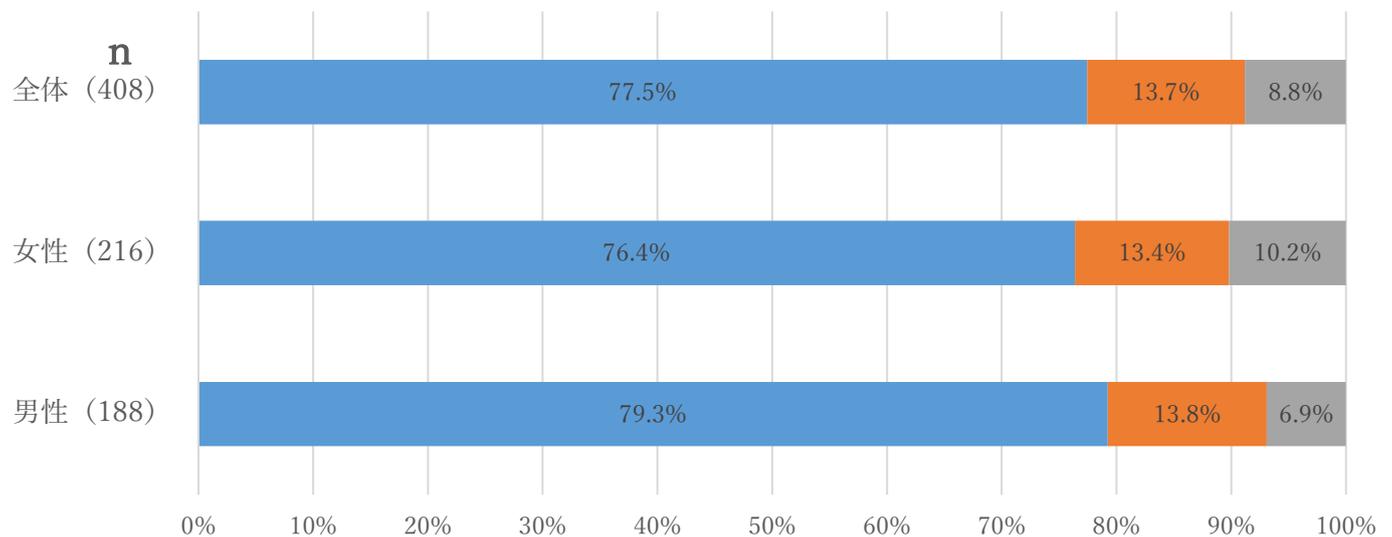
あなたの職業は。



○その他：・常勤(リモートワーク)。・看護職。・季節労働者。

### 4. 婚姻

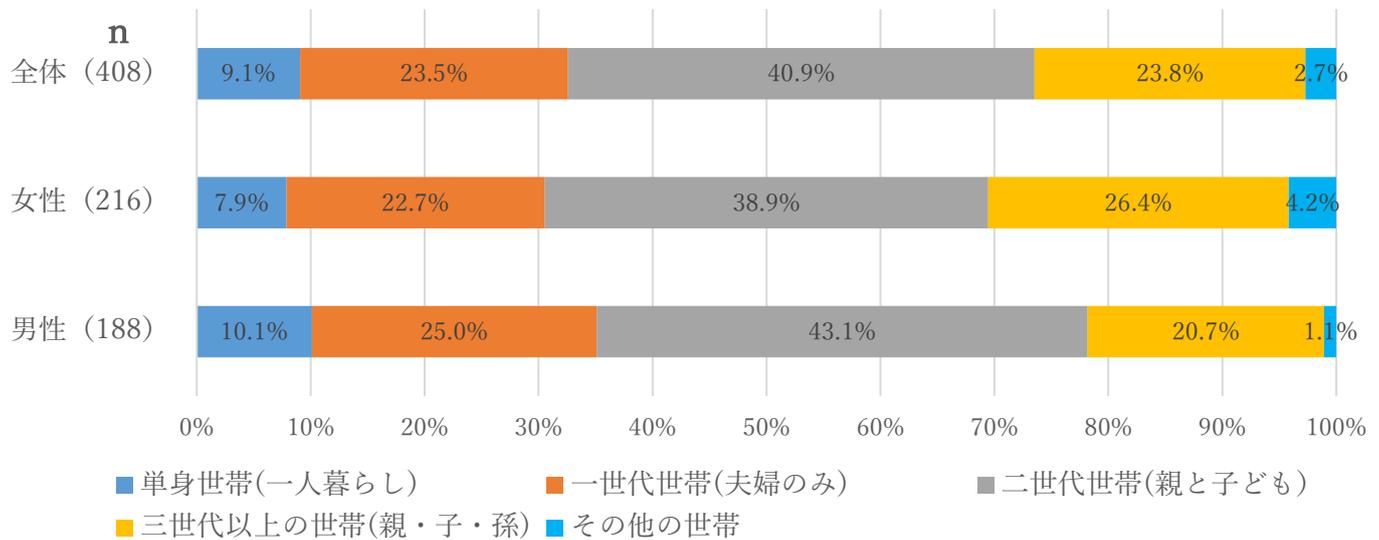
問4 あなたの状況は。



■ 配偶者・パートナーがいる ■ 配偶者・パートナーがいない ■ 配偶者・パートナーがいたが、離別・死別した

## 5. 家族構成

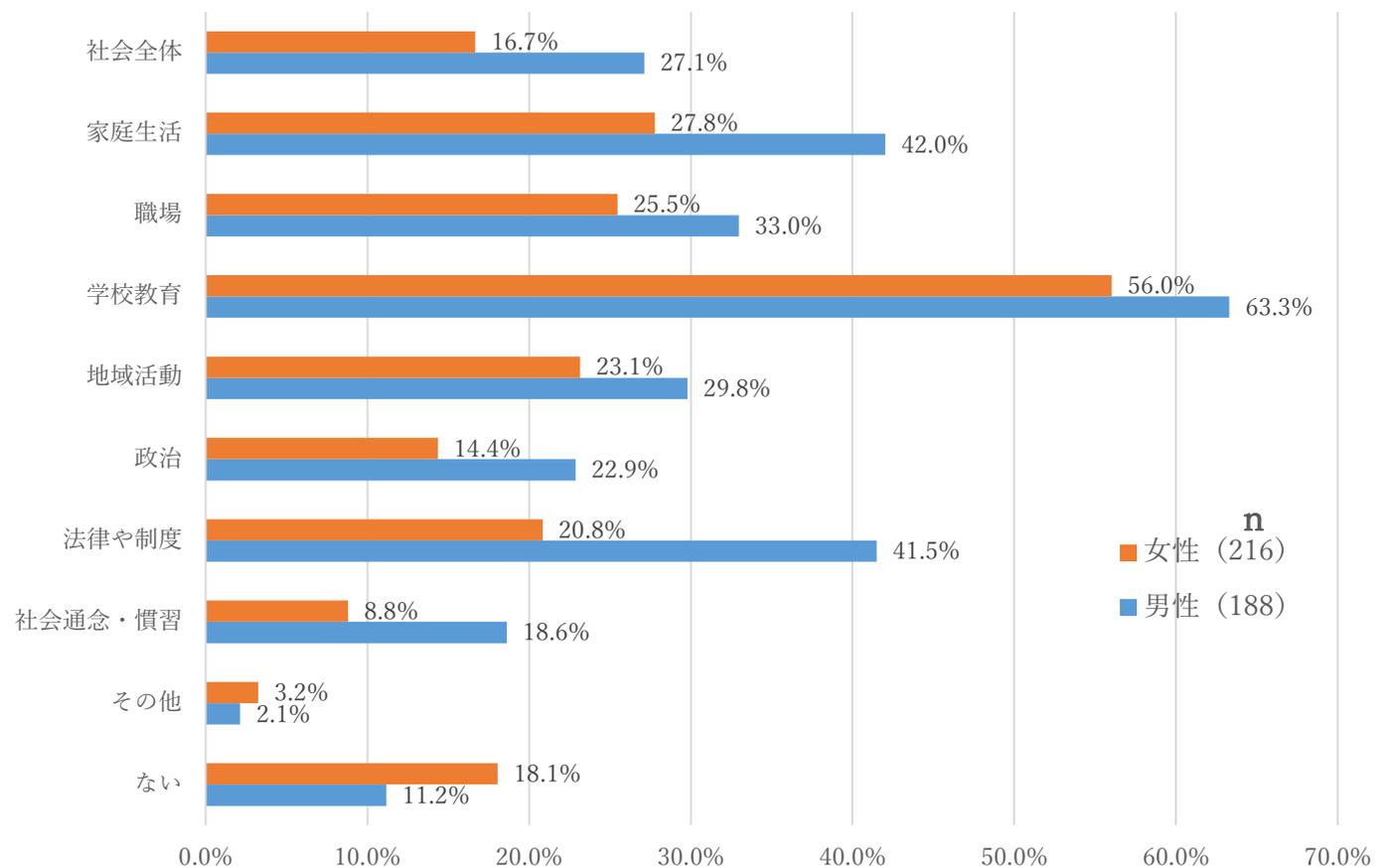
問5 あなたの家族構成は。



○その他：・孫と二人暮らし。

## 6. 男女平等

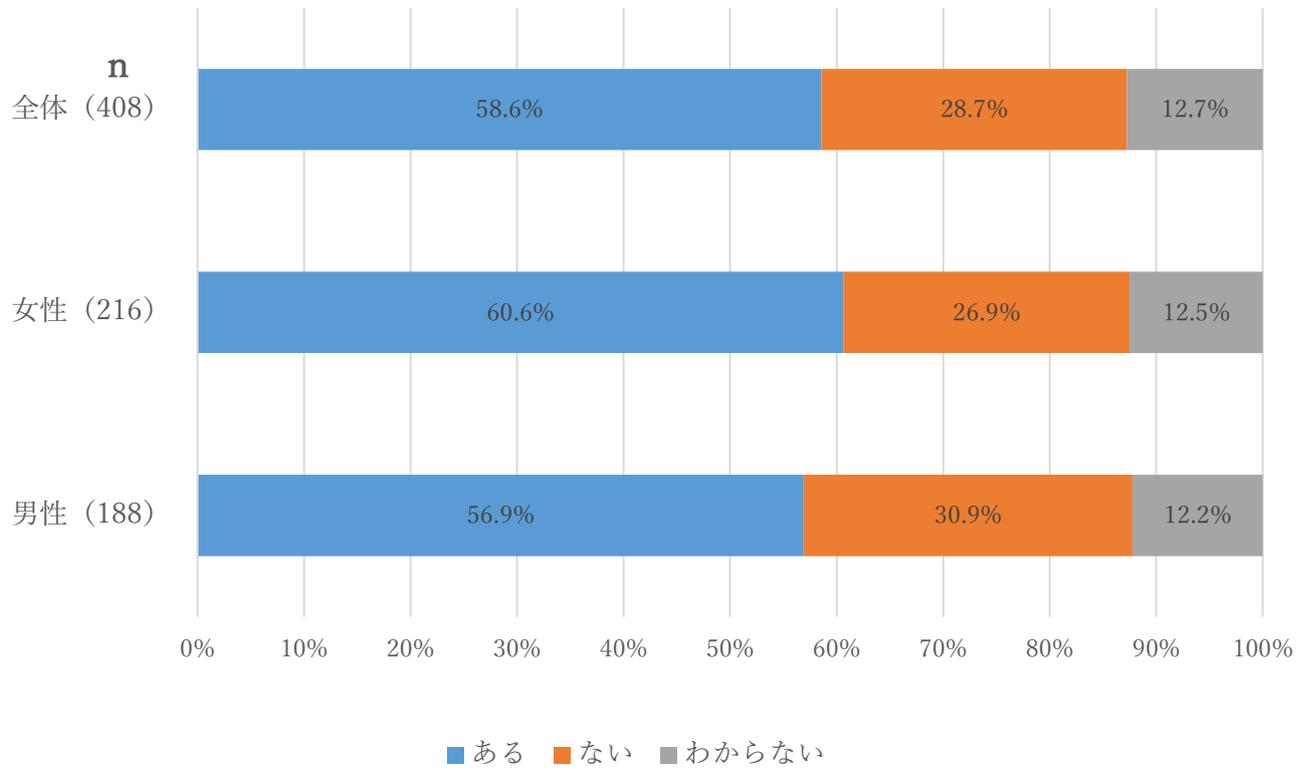
問6 あなたが今現在“男女平等である”と思うものは。(複数回答可)



○その他：・生老病死。・消費税。・必要なのは平等ではなく公平。

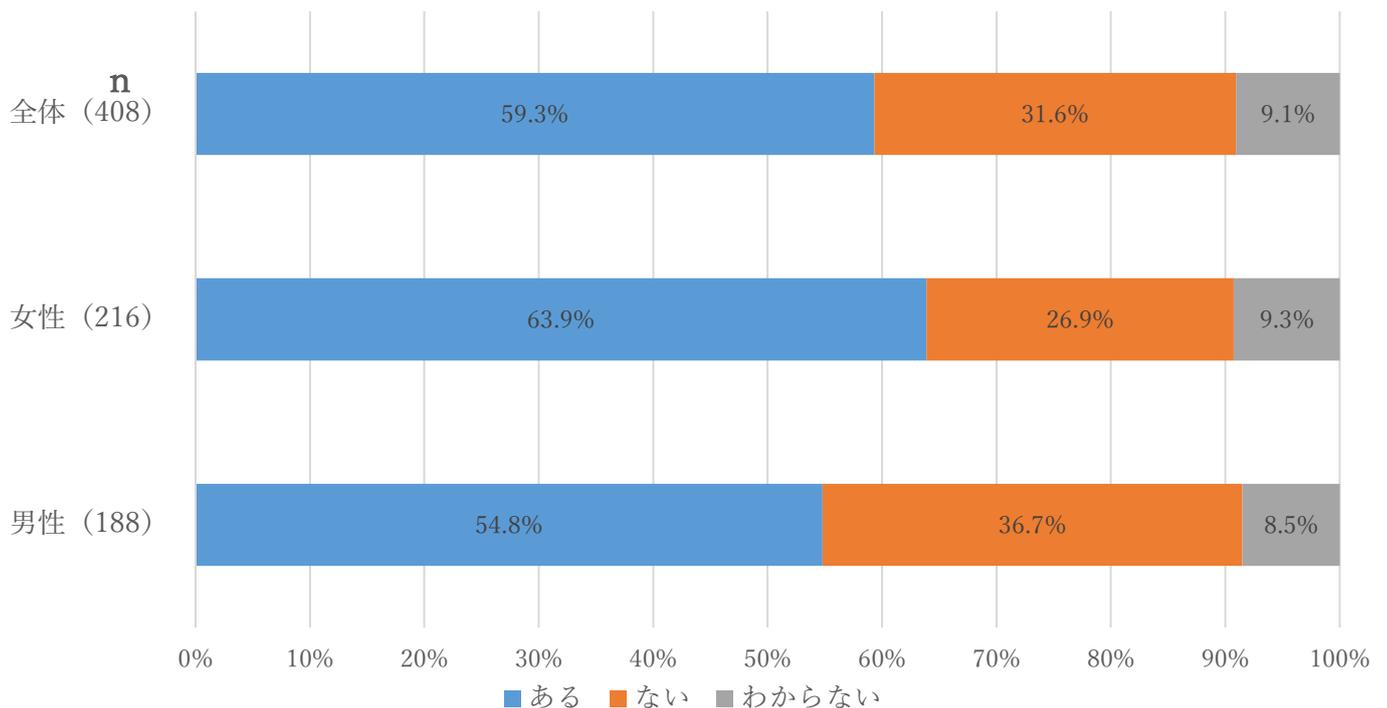
## 7. 性別役割分担の経験の有無

問7 あなたは「男は男らしく」「女は女らしく」と育てられた(そのようなことを言われた)経験は。



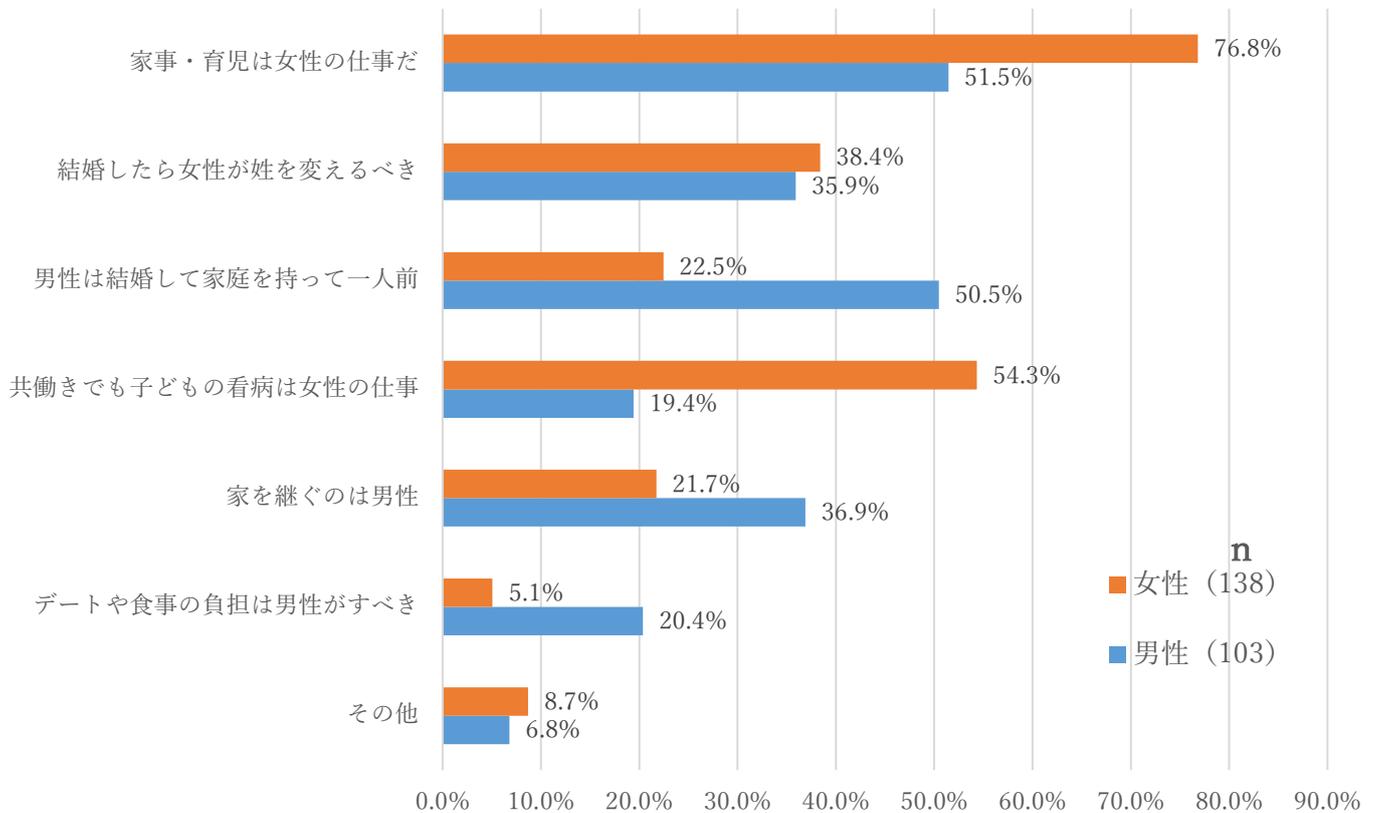
## 8. 家庭における性別役割分担意識

問8 あなたは家庭において「男だから」「女だから」という意識がありますか。



9. 8の詳細

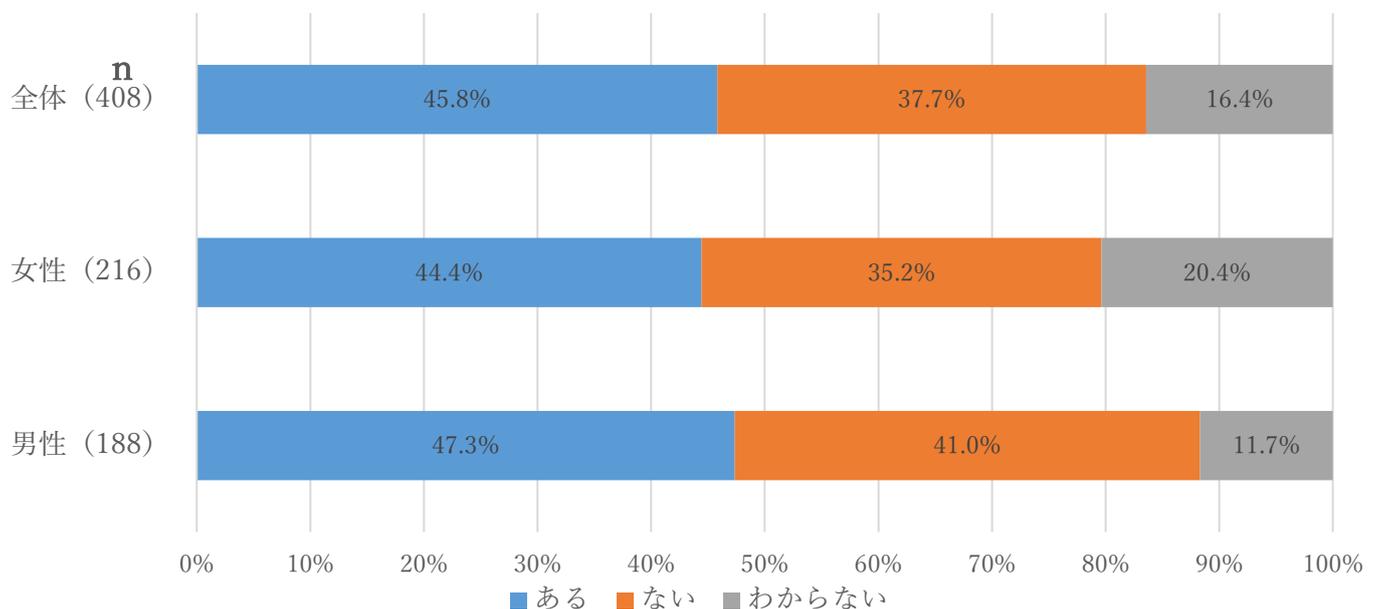
問9 それはどのようなことですか。(3つまで選択可)(問8で「ある」を選んだ方が回答可)



○その他：・力仕事や体力的な仕事。・男は家の代表として会合等に出ないといけないこと。・稼ぎ頭は男性。

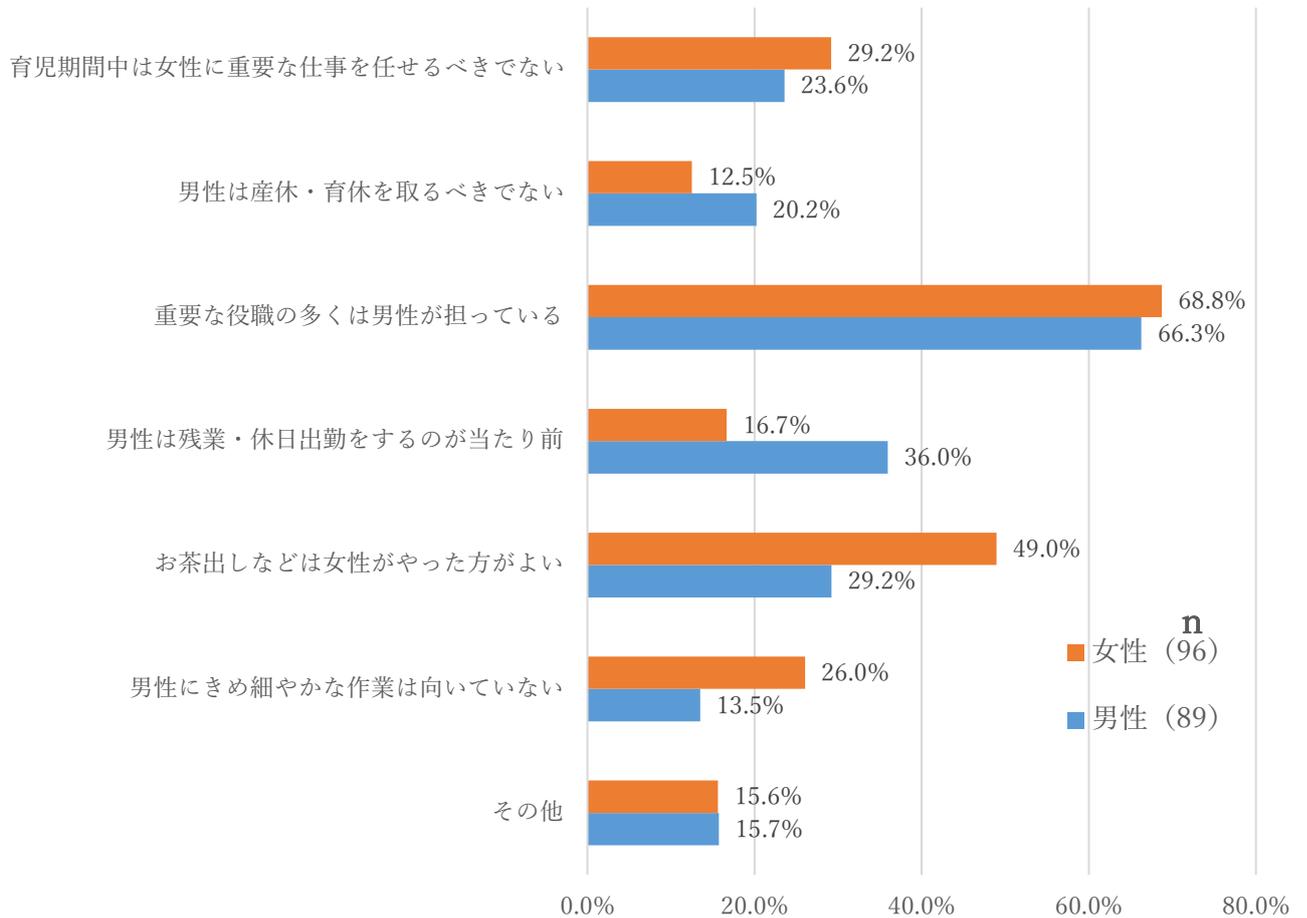
10. 職場における性別役割分担意識

問10 あなたは職場において「男だから」「女だから」という意識がありますか。



11. 10の詳細

問11 それはどのようなことですか。(3つまで選択可)(問10で「ある」を選んだ方が回答可)



○その他：・力仕事や体力的な仕事。・男女のイメージで仕事が割り振られている、妊娠・育児期間中の女性に対して理解が十分でない。・雪道の運転や機械の操作は男性。

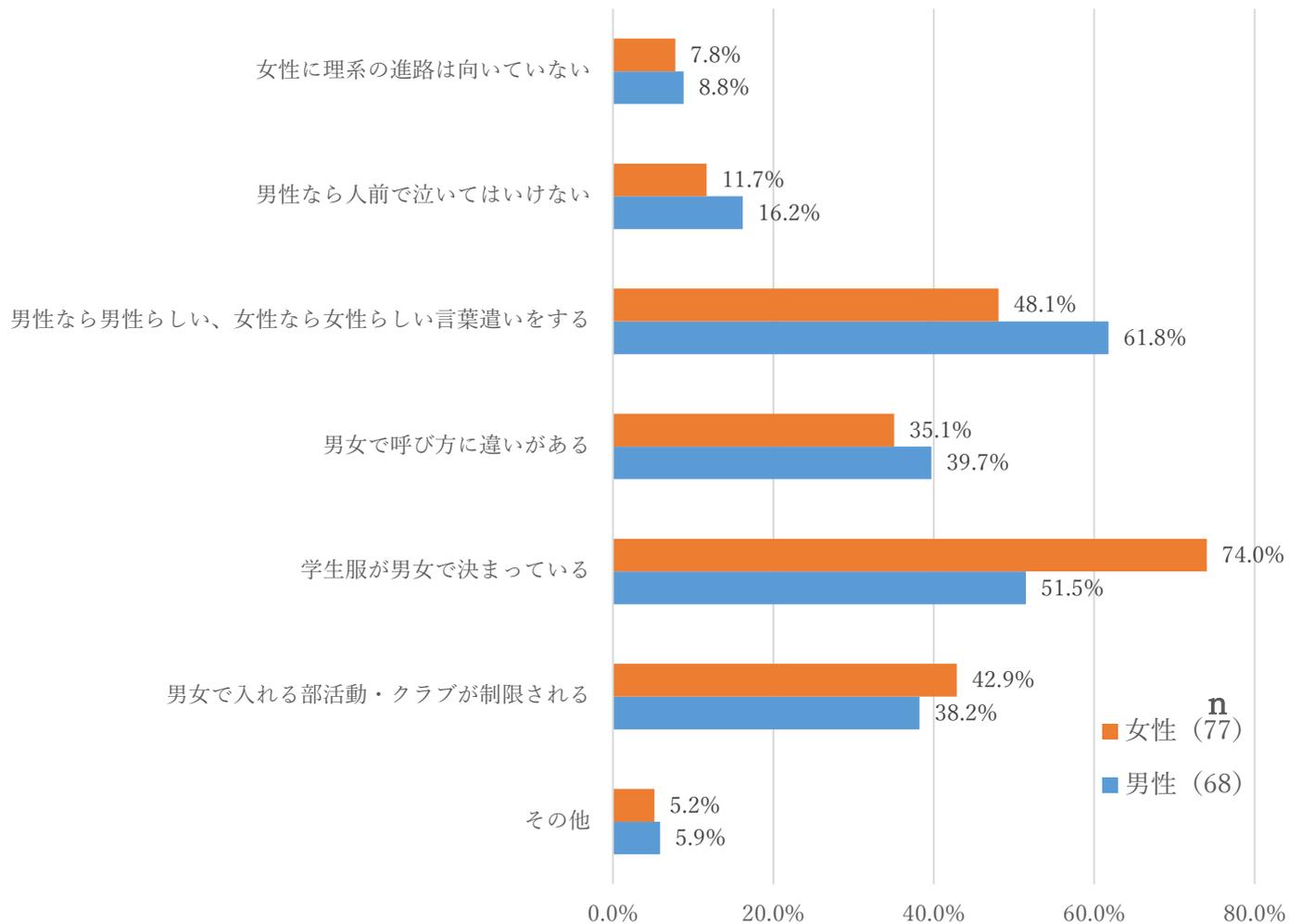
12. 学校における性別役割分担意識

問12 あなたは学校において「男だから」「女だから」という意識がありますか。



13. 12の詳細

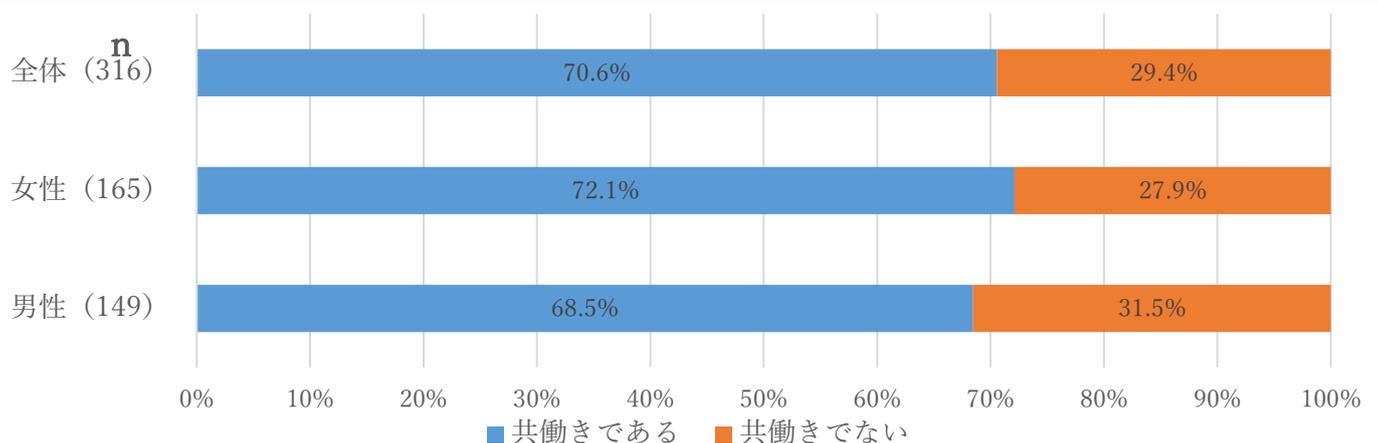
問13 それはどのようなことですか。(3つまで選択可)(問12で「ある」を選んだ方が回答可)



○その他：・男子、女子などの書き方が常に男子が上。・力仕事。・トイレや更衣室などが分けられている。

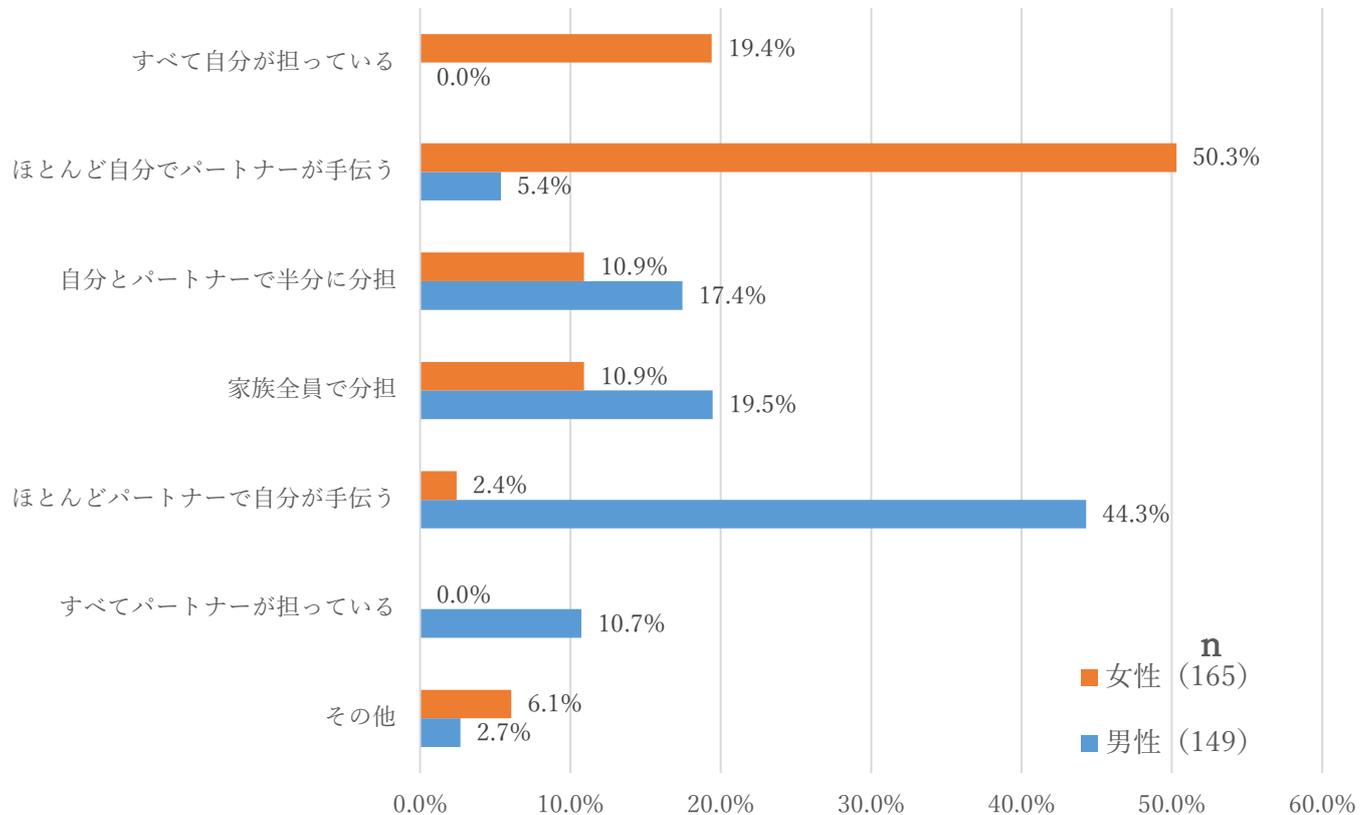
14. 共働きについて

あなたの家庭は共働きですか。(問4で「配偶者・パートナーがいる」を選んだ方が回答可)



### 15. 家事分担

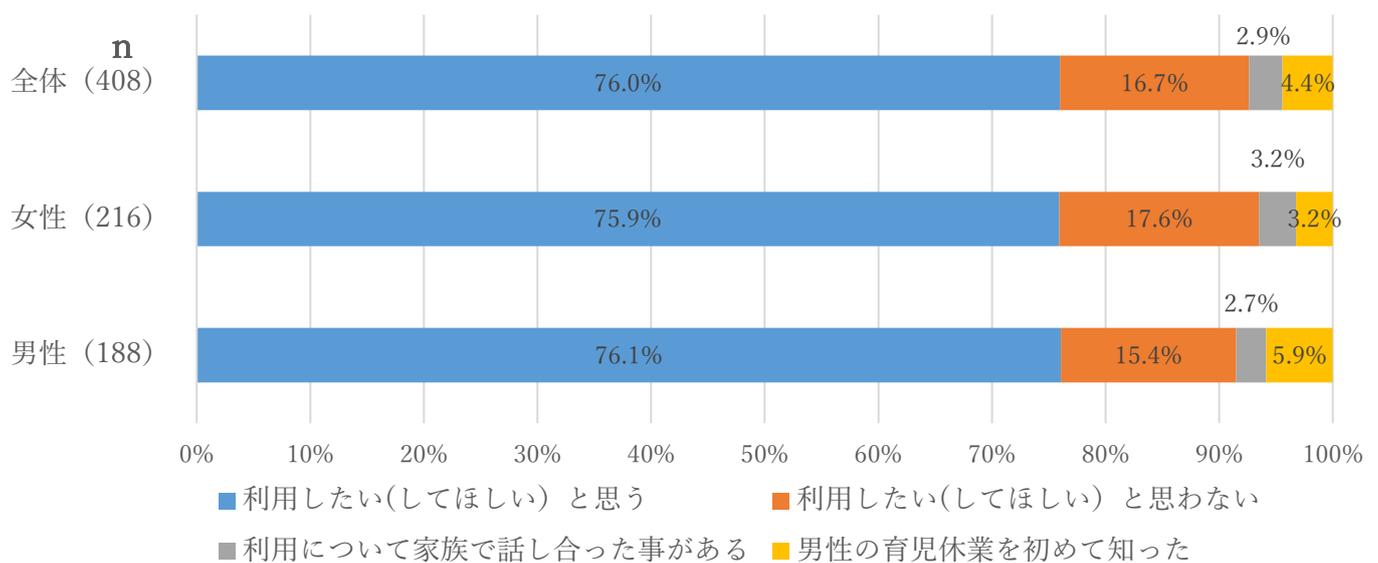
家庭での家事分担は。(問4で「配偶者・パートナーがいる」を選んだ方が回答可)



○その他：・お互いのできることをする。・子どもを中心に考え、臨機応変に分担している。

### 16. 男性の育児休業

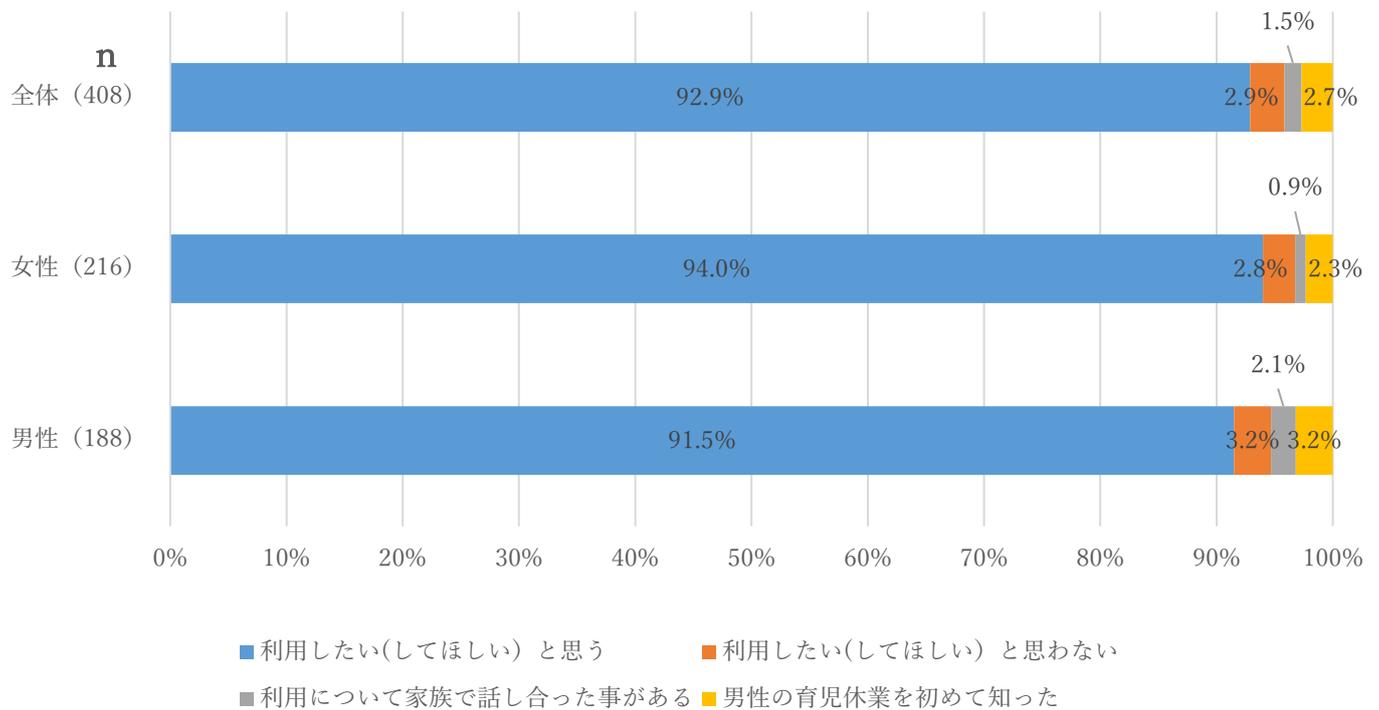
問16 男性の育児休業についてどう思いますか。



・期間については夫婦、会社で話し合うべきだと思う。個人的には1ヶ月休んでもらえたので助かった。

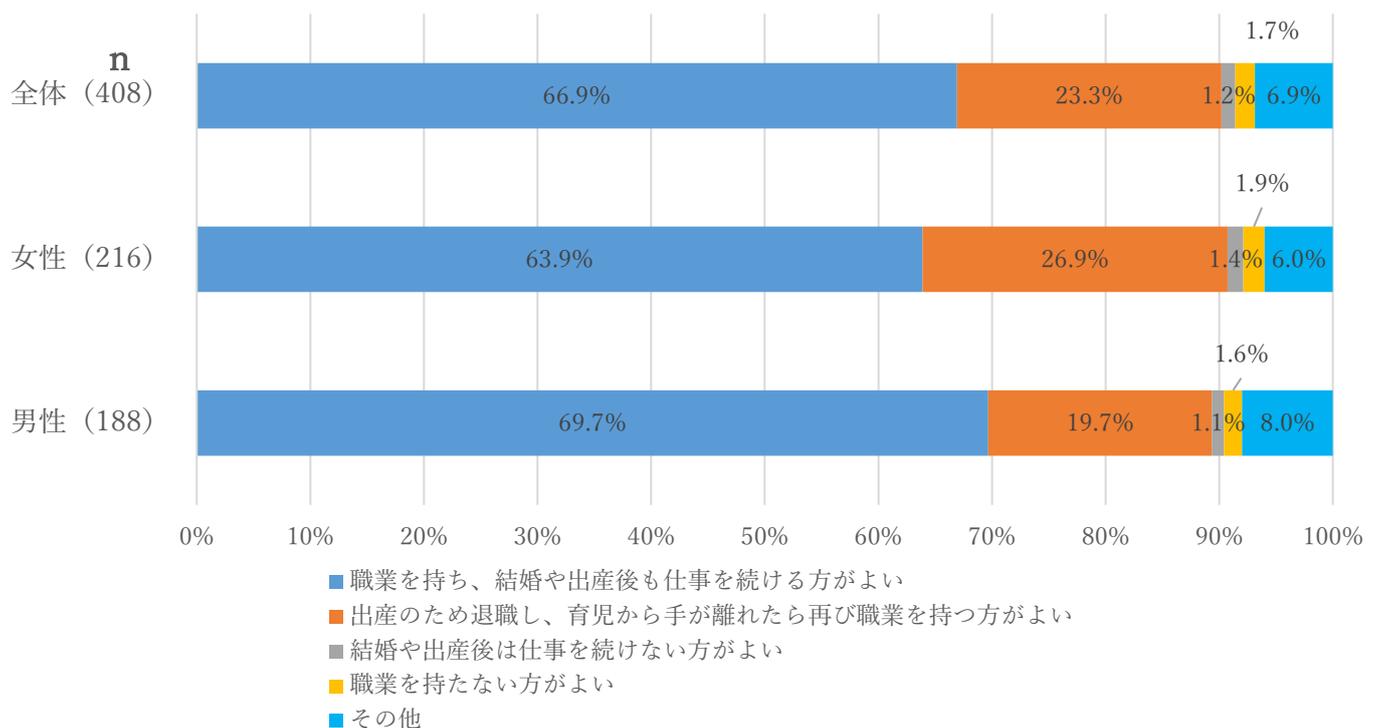
### 17. 女性の育児休業

問 17 女性の育児休業についてどう思いますか。



### 18. 会社員等の職業を女性が持ち続けること

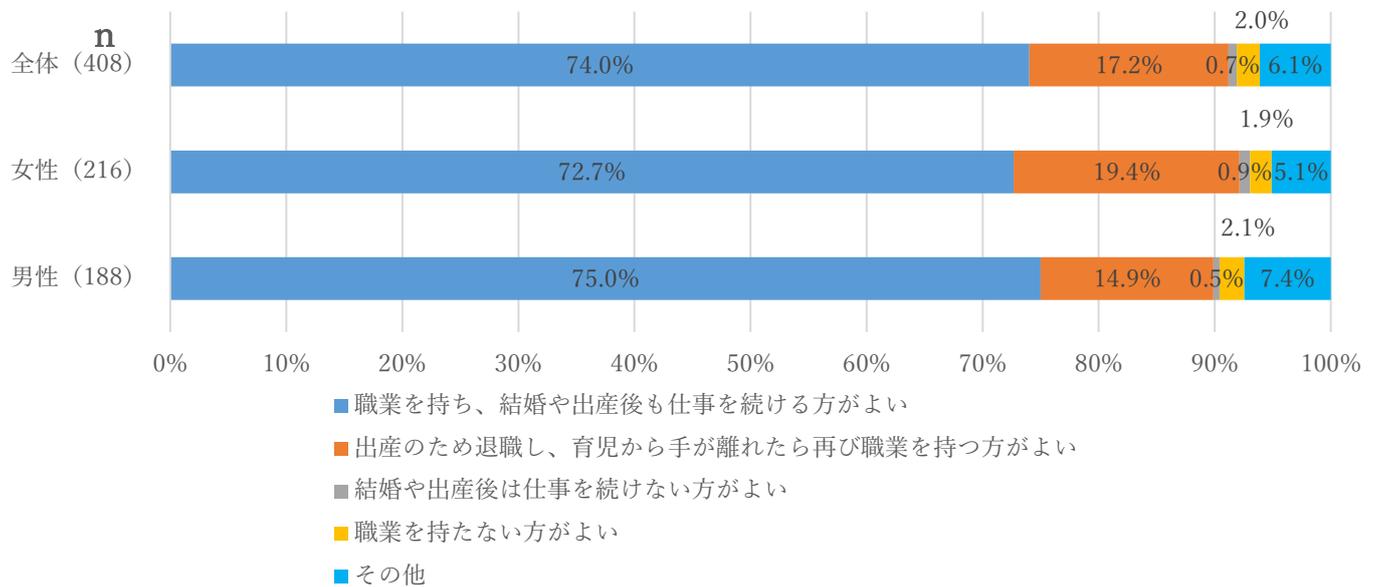
問 18 会社員等の職業を女性が持ち続けることについてあなたはどのように考えますか。



○その他：・個人の判断で決められるのが良い。・個人の自由だが実際は仕事を続けざるを得ない人が多い。

### 19. 農業や自営業の職業を女性が持ち続けること

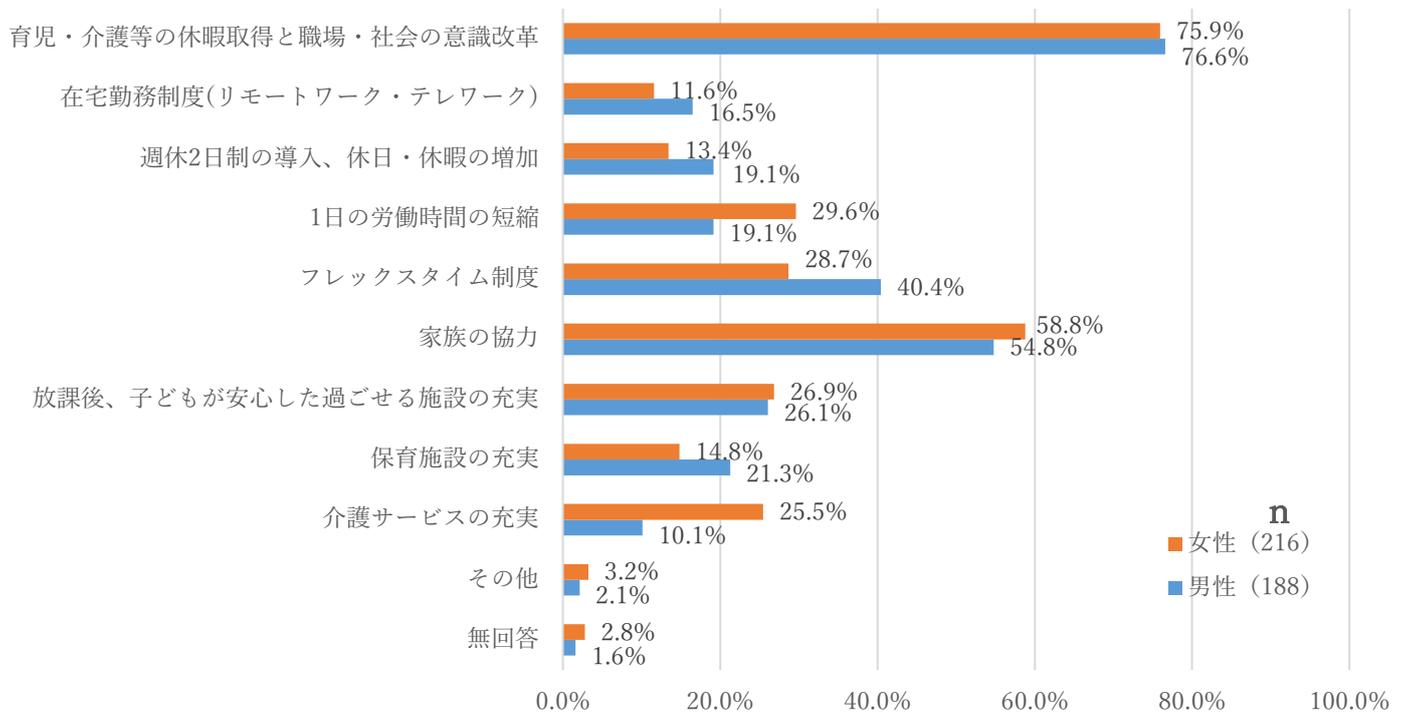
問 19 農業や自営業の職業を女性が持ち続けることについてあなたはどのように考えますか。



○その他：・個人の判断で決められるのが良い。・個々の考え方と相手方の理解、協力による。

### 20. 女性が家庭と仕事の両立に必要な労働環境や制度

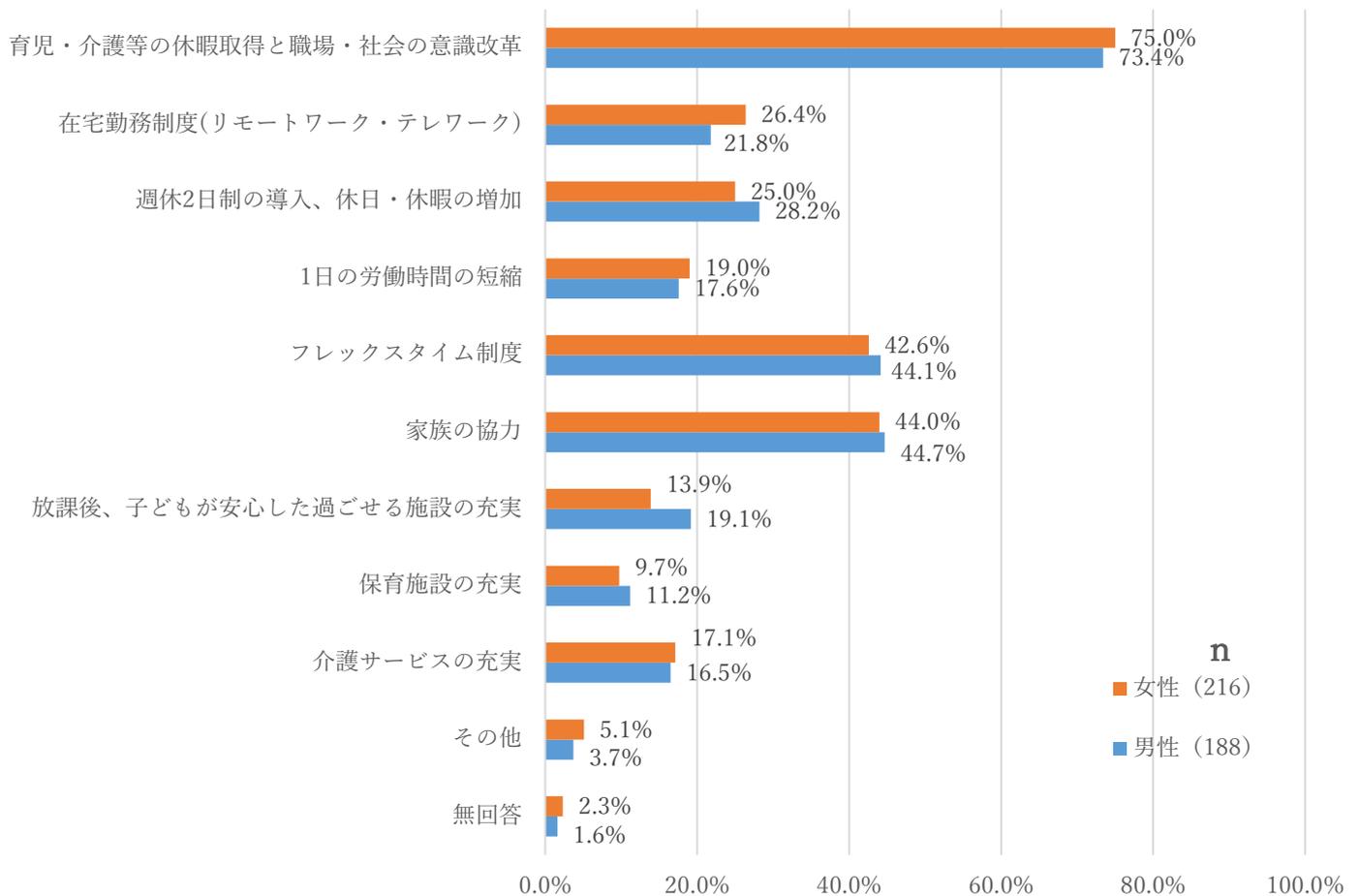
問 20 女性が家庭と仕事を両立させて働き続けるために必要な労働環境や制度は。(3つまで選択可)



○その他：・週休3日制の導入。・ベーシックインカム。・全部必要。・産前の給与と同等水準を保てる制度。  
 ・現在の制度で両立できない人はサービスを追加してもできない。そして自分が無理な理由を社会制度のせいにする。男女共同参画は甘えた人たちのわがままに税金を投入している気がする。

## 21. 男性が家庭と仕事の両立に必要な労働環境や制度

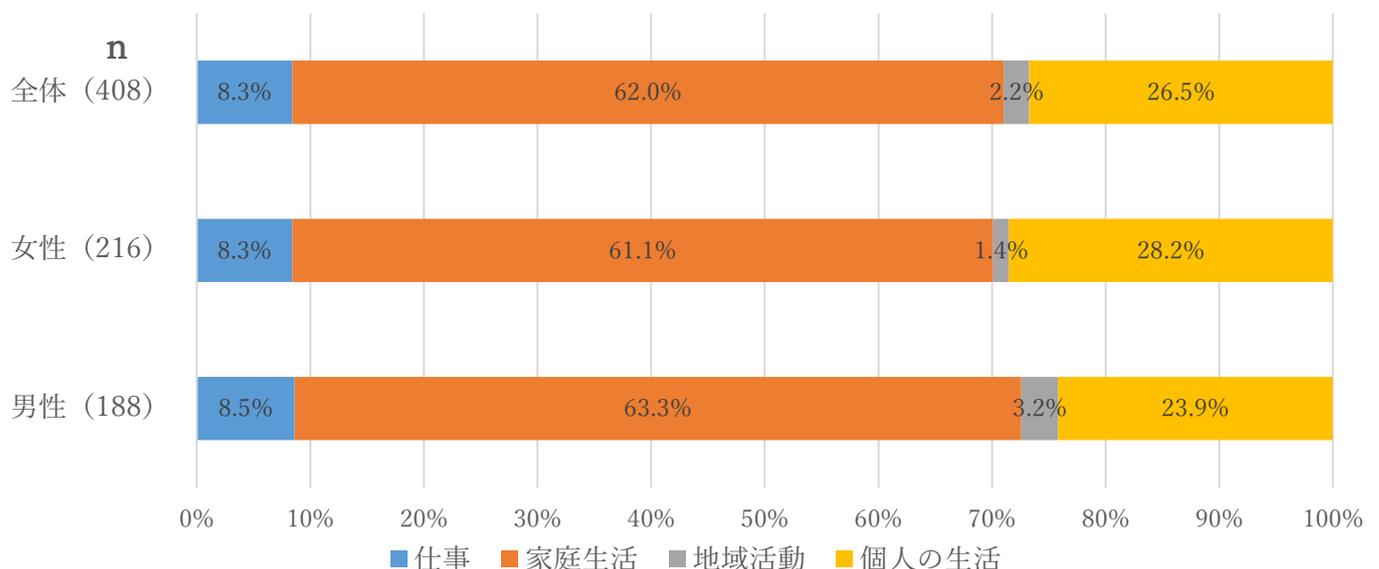
問21 男性が家庭と仕事を両立させて働き続けるために必要な労働環境や制度は。(3つまで選択可)



○その他：・教員の労働時間の短縮。・仕事量の見直し。・自身の意識を変えること。

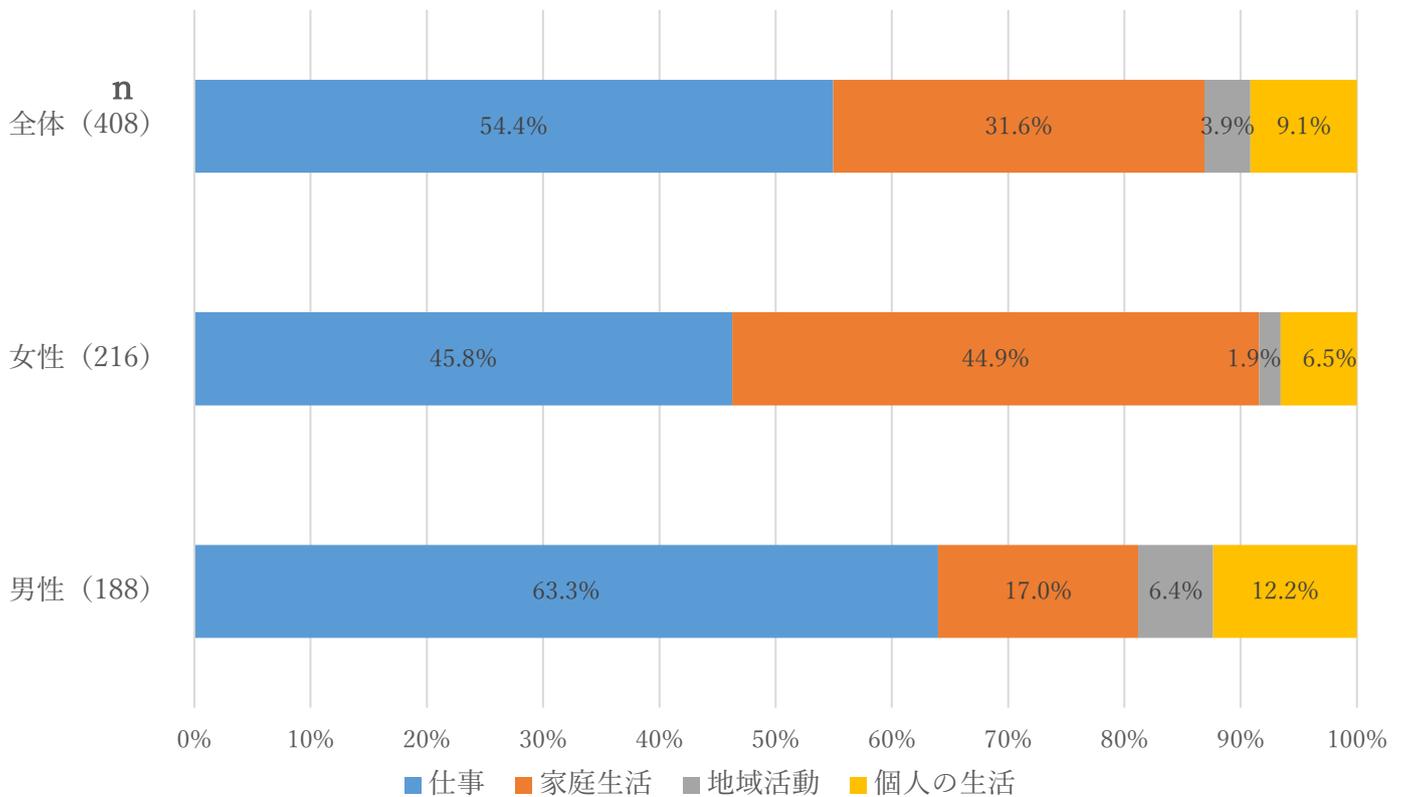
### 22-1. 「仕事」「家庭生活」「地域活動」「個人の生活」で優先度が高いもの(理想)

問22 「仕事」「家庭生活」「地域活動」「個人の生活」の中で優先度が最も高いものは。(理想)



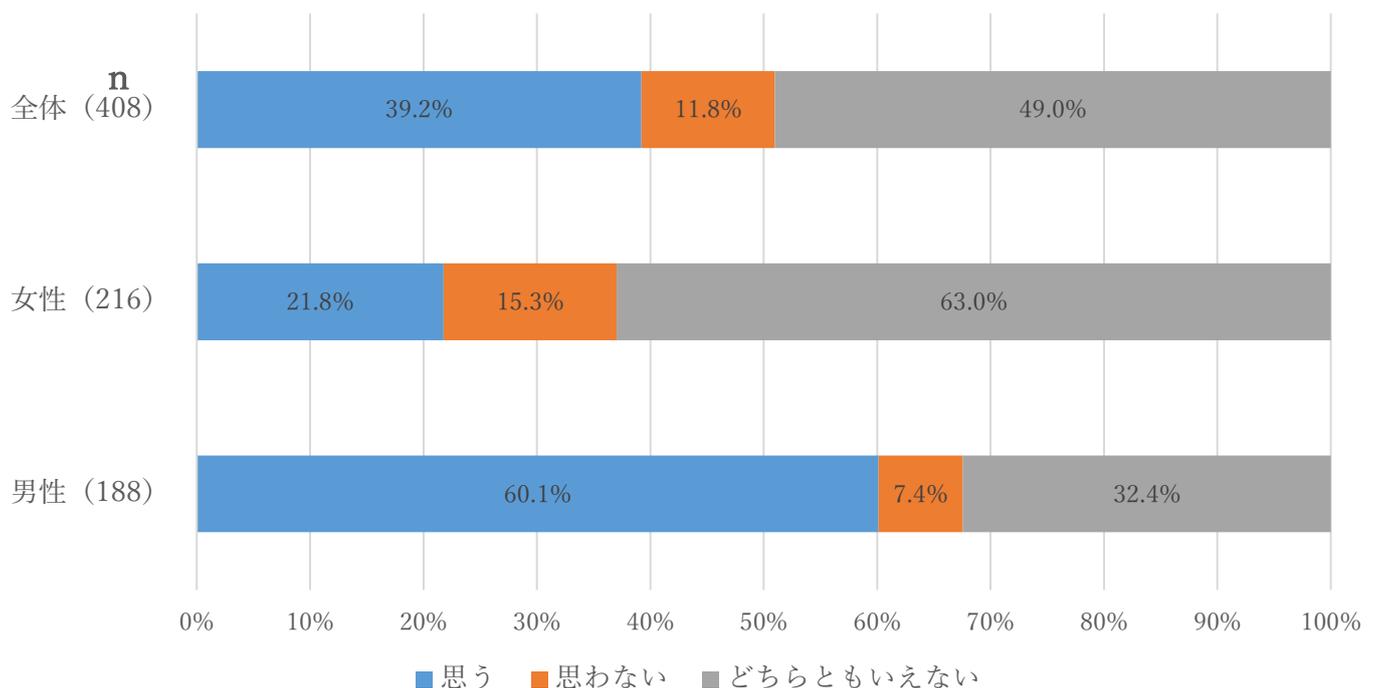
22-2. 「仕事」「家庭生活」「地域活動」「個人の生活」で優先度が高いもの（現実）

問 22 「仕事」「家庭生活」「地域活動」「個人の生活」の中で優先度が最も高いものは。（現実）



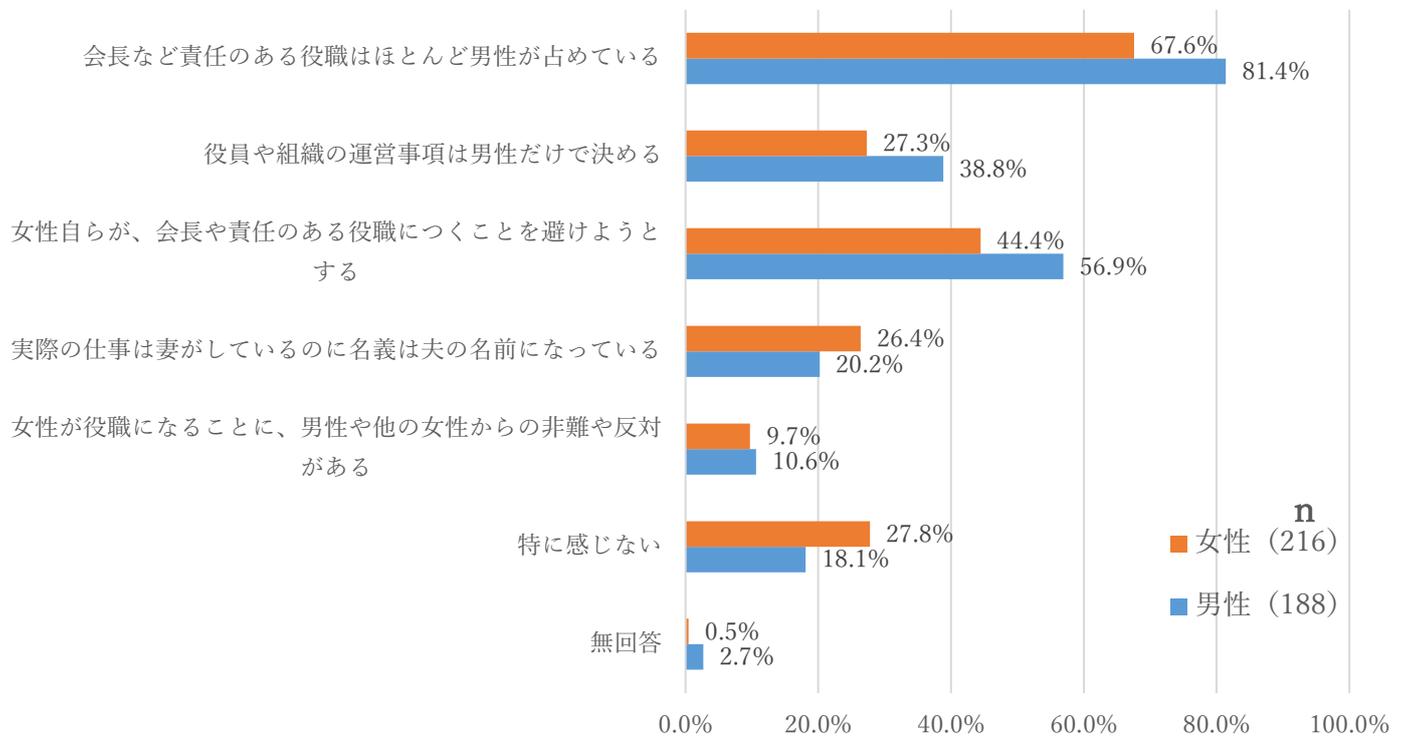
23. 地区やPTA への女性進出

問 23 あなたは地区役員やPTAなどの会長に女性が進出する必要があると思いますか。



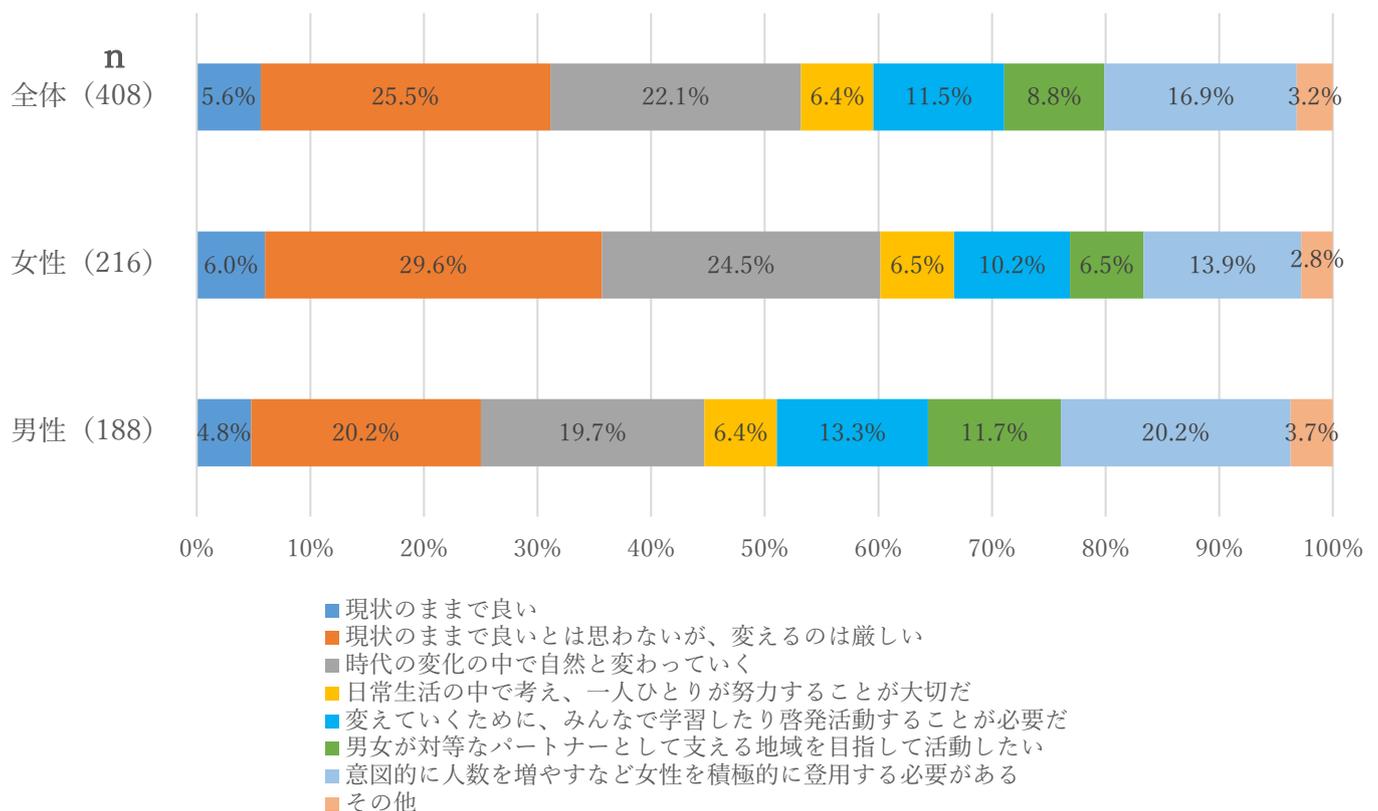
24. 地域活動や作業

問 24 地区・PTA 等の地域活動や作業において次のようなことがありますか。(3 つまで選択可)



25. 行政や方針決定の場に女性の参画が少ない現状について

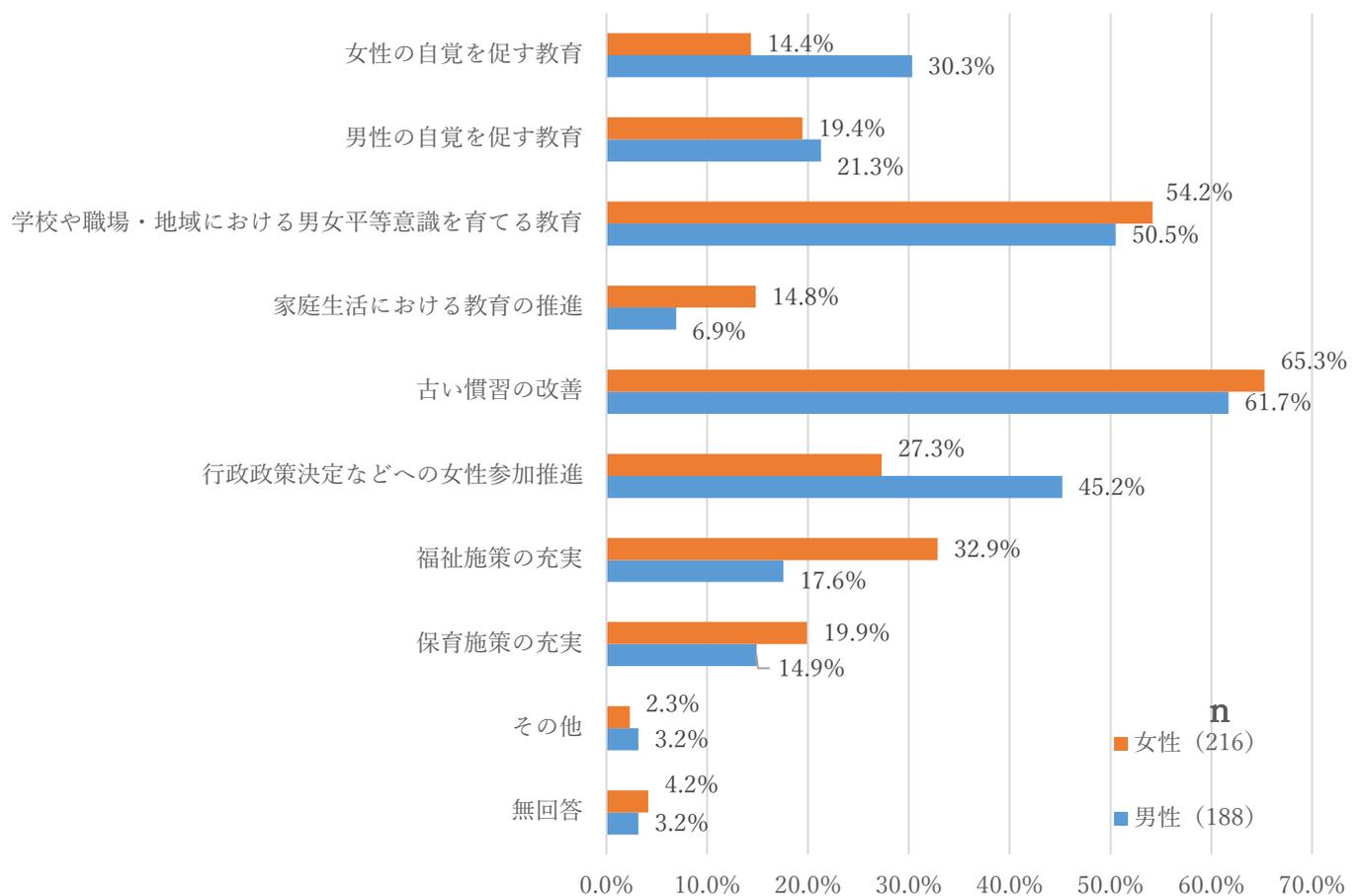
問 25 地方行政や方針決定の場に女性の参画が少ない現状についてどのように考えますか。



- その他：
  - ・やりたいのに女性だからという理由で排除されるなら問題だが、やりたくないから少ないのであればしょうがない。
  - ・女性が参画できないっていうのはだめだと思うけど、そうじゃないのなら参画したい人がしていけばいいと思う。
  - ・今の代表をされている70代位の男性の方々の意識改革をしなければ女性の参画は難しいと思います。ある程度の年齢で若い世代へ譲るべきと思う。
  - ・女性が家事や育児など家のことをやっているなら、男性には役員や行事などの外のことをやってもらいたい。

## 26. 今後、行政が力を入れるべきこと

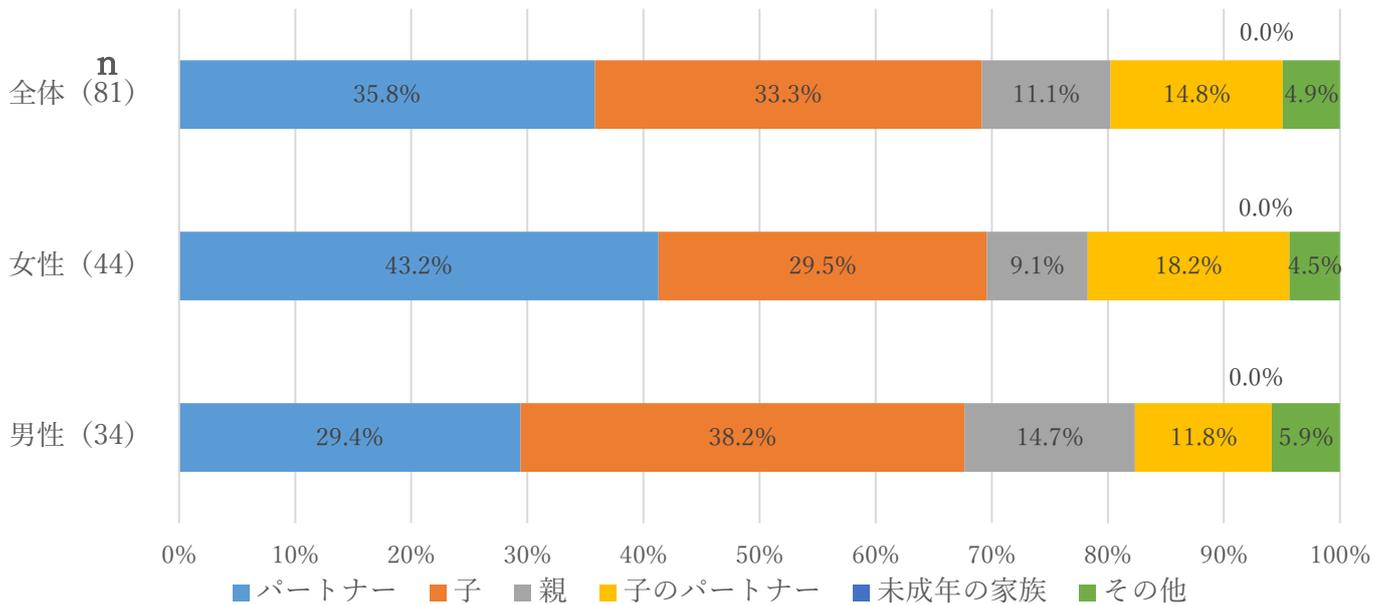
問26 男女共同参画社会の実現に向けて行政が力を入れるべきことは。(3つまで選択可)



- その他：
  - ・もっと若者を行政に加えること。老人はアドバイザーでいいと思う。
  - ・10年もたてば、世の中の通年もだいぶ変わっている気がします、それまでの経過措置として、4年とか10年とか時限をきって、委員会や地区役員などに必ず一定割合以上、女性が入るように義務付けてはいかがでしょうか？年ごと交代制にするとか。「試験的な制度」です。同時に、うまく活動が回っていくように、男女共同参画意識向上のための研修で、先進事例を学ぶなど、広い視野と女性のエンパワーメント、男性の意識改革が必要と思います。理解ある事務局(行政)の存在も大事かと思います。
  - ・女性が参画できるよう、男性の家庭生活の変革
  - ・男女共同参画事業はいらない。

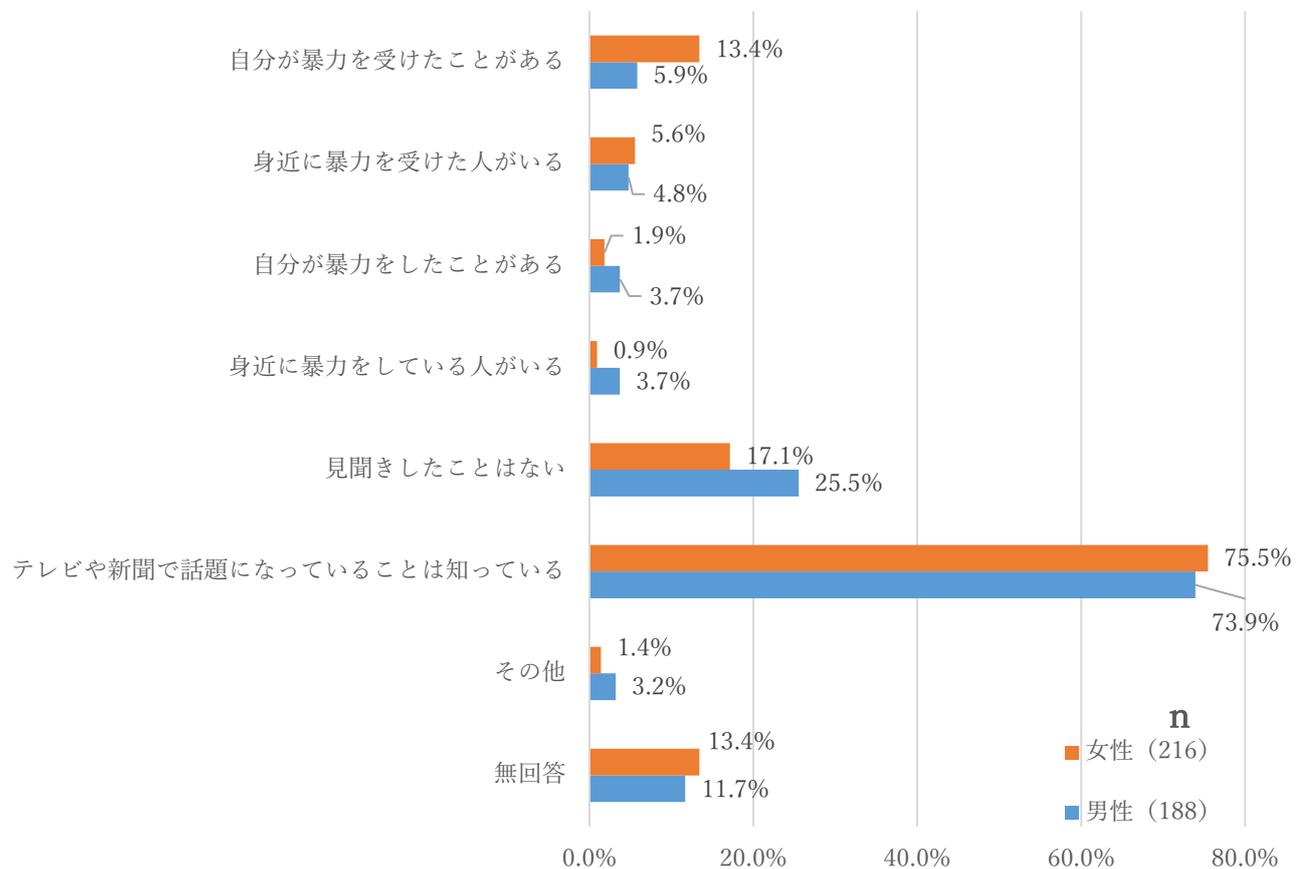
27. 介護

問27 主に介護をしている方は。(家に介護を必要とする方のみ回答可)(要介護者から見た続柄)



28. DVについて

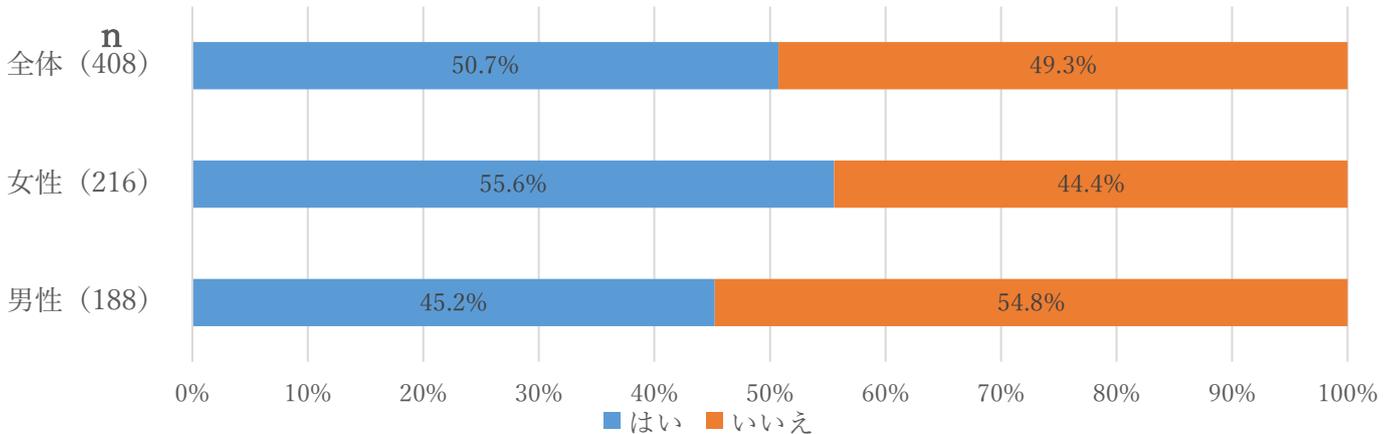
問28 DVについてあなたにあてはまるものがありますか。(複数回答可)



○その他：・言葉の暴力。・身近に暴力をしていた人がいた。

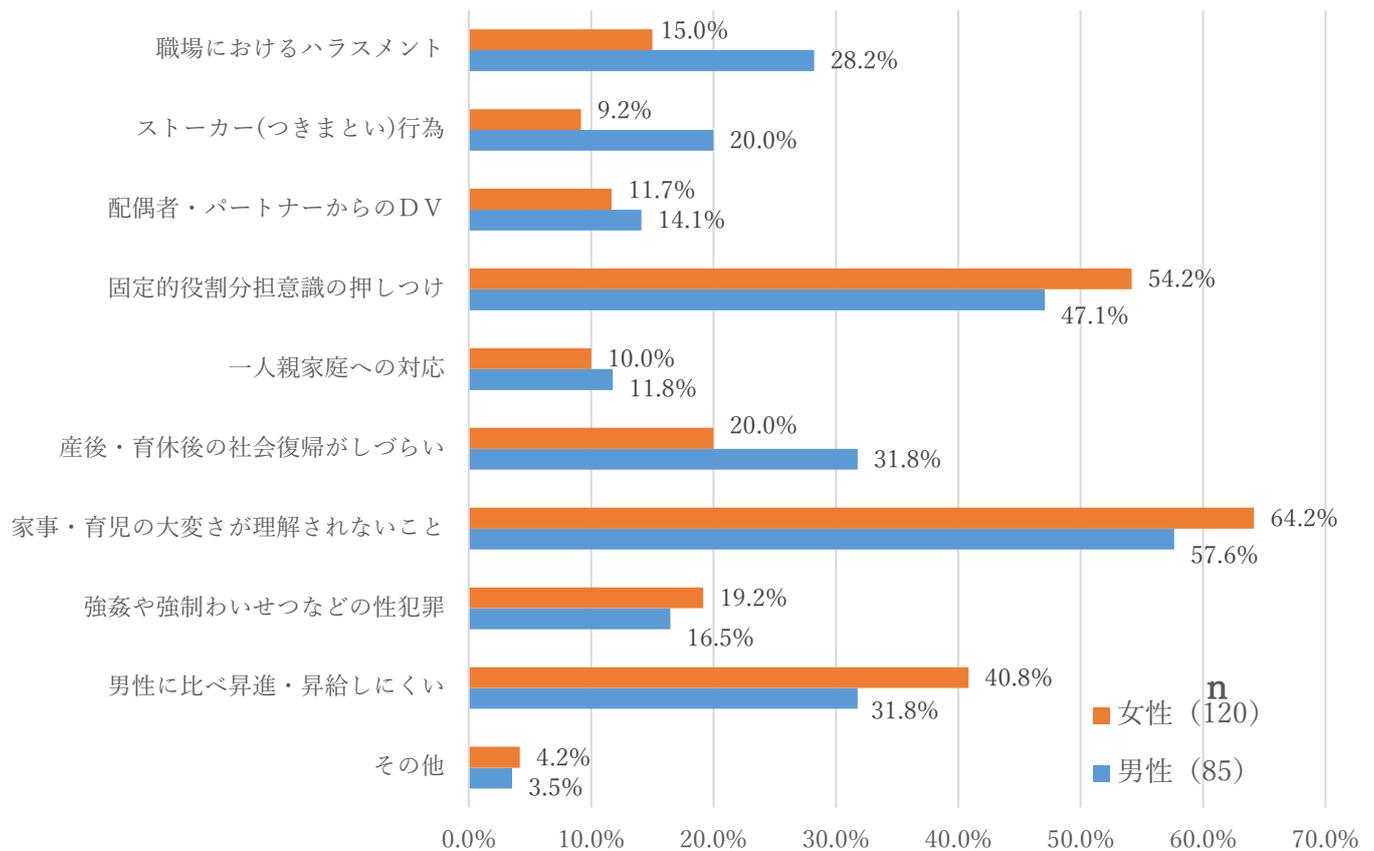
## 29. 女性の人権

問 29 女性の人権が尊重されていないと感じることがありますか。



## 30. 29の詳細

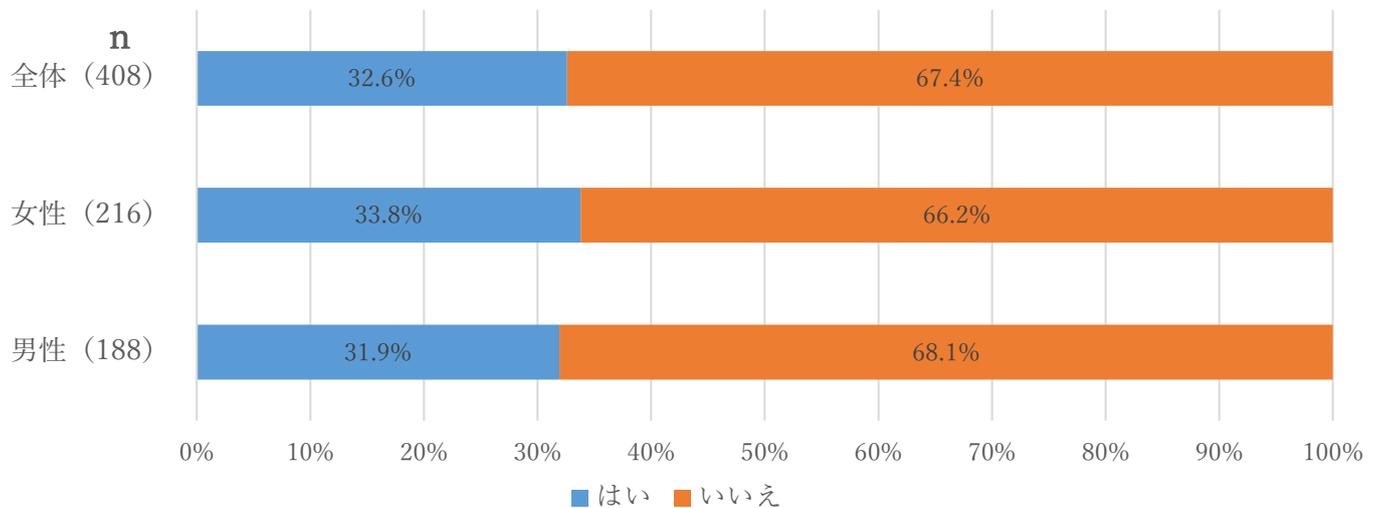
問 30 それほどのようなことですか。(3つまで選択可) (問29で「はい」を選んだ方が回答可)



- その他：・職場の管理職には女性がいない。・容姿のことを気安く話題にする。  
 ・中川村の各地区の決まりなど、ある高齢の男性に女は言うことを聞けと言われていたことがある。  
 ・給料、手当が低い。離別後、実家へ戻ると児童扶養手当が止まる。家族からお金の支援はされていない。子どもの親の所得で判断してもらいたい。

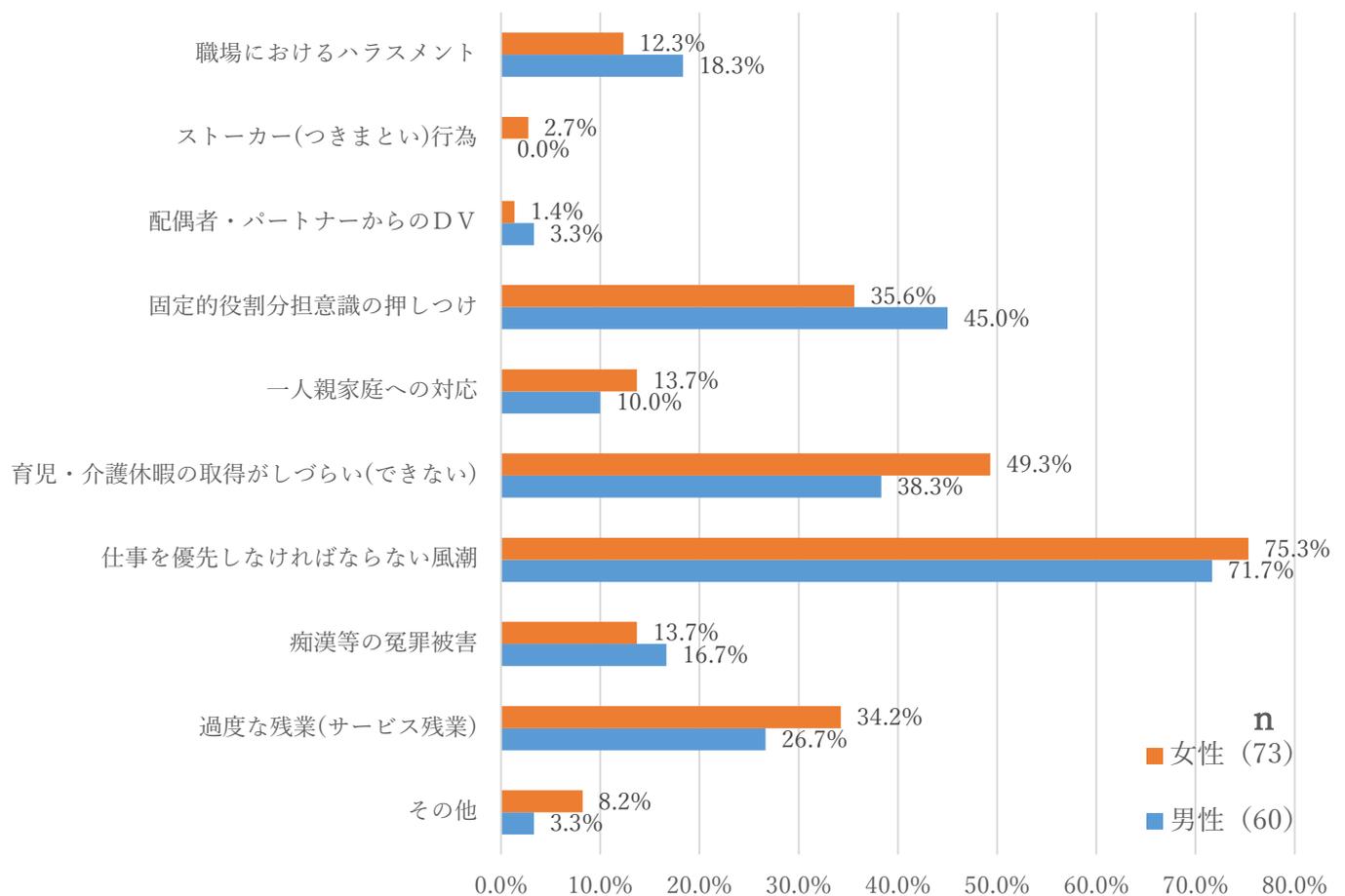
### 31. 男性の人権

問31 男性の人権が尊重されていないと感じることがありますか。



### 32. 31の詳細

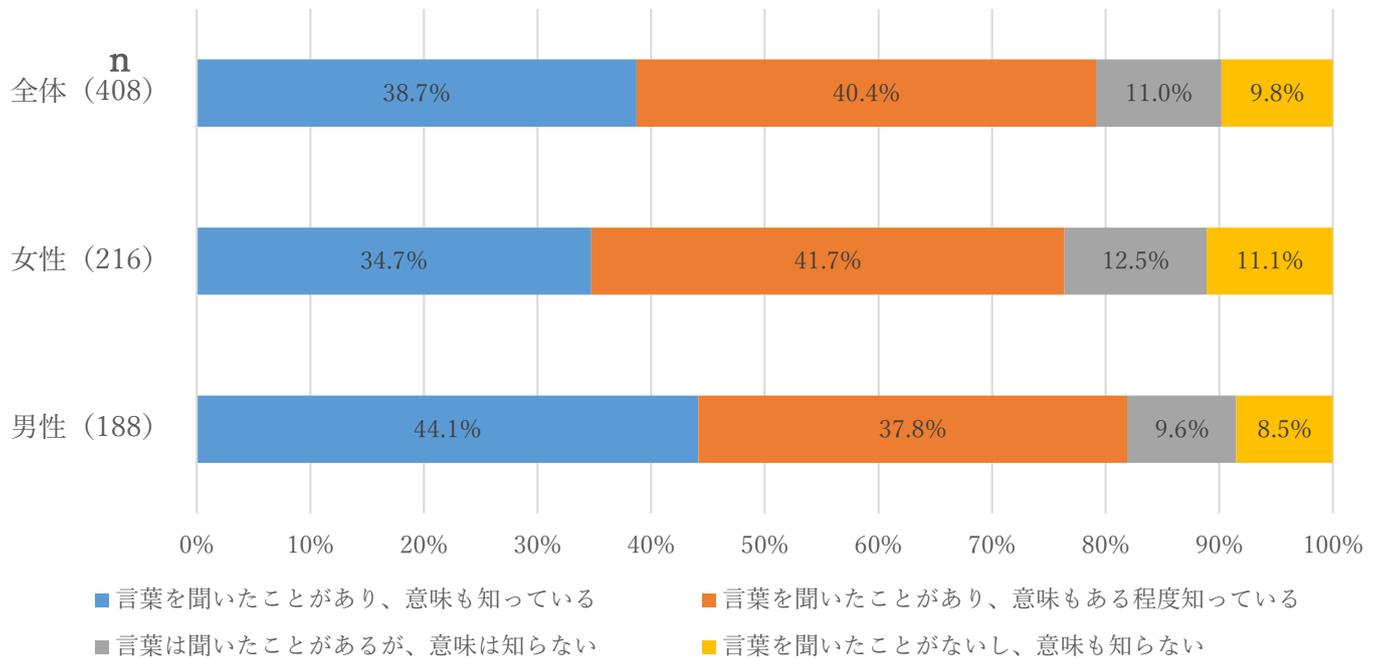
問32 それはどのようなことですか。(3つまで選択可) (問31で「はい」を選んだ方が回答可)



- その他：  
 ・被害者は「女性」という思い込み。男性だって大変だと思う。  
 ・男性だからできて当たり前という認識。

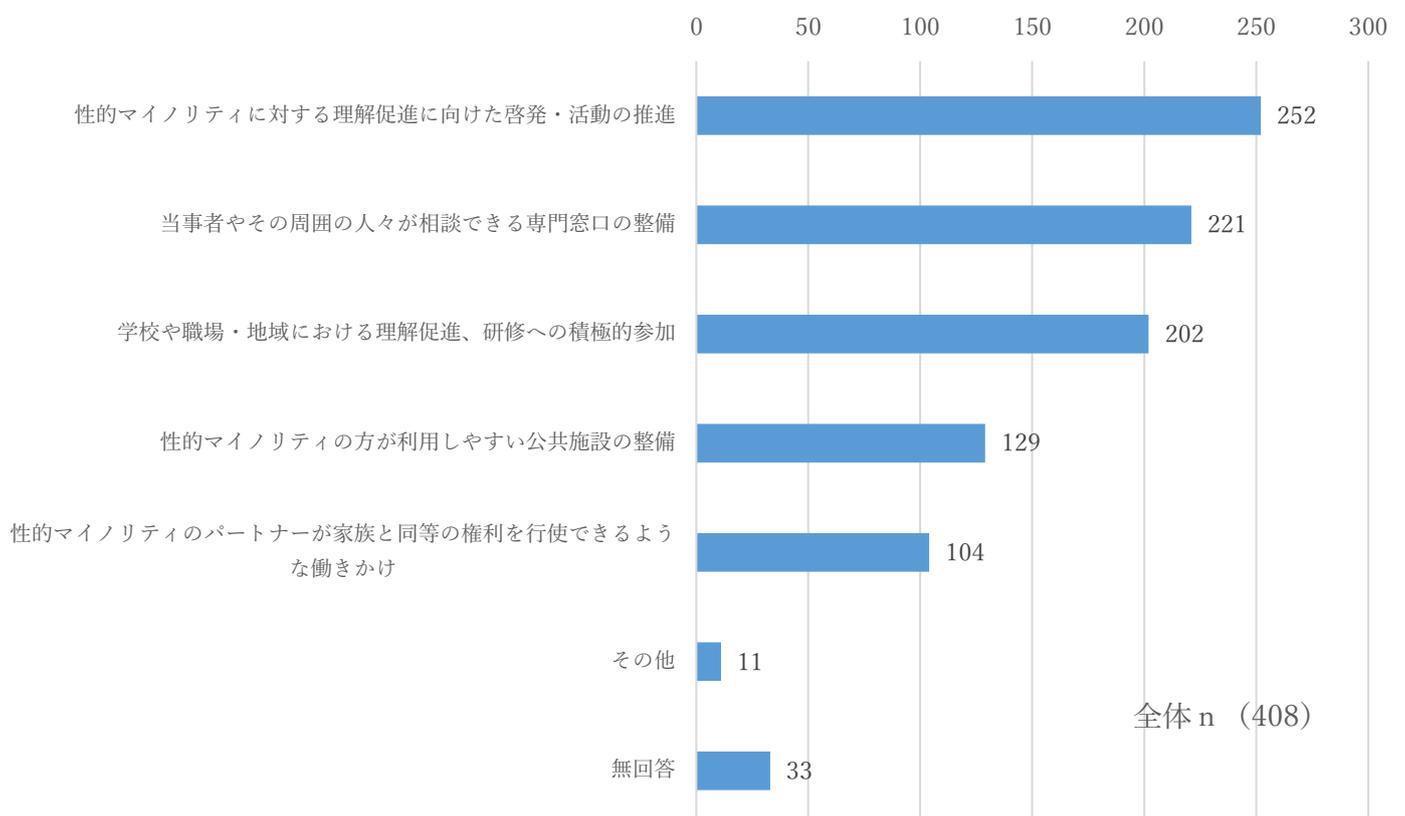
### 33. LGBTQ や性的マイノリティ

問 33 LGBTQ や性的マイノリティという言葉聞いたことがあるか。また意味は知っていますか。



### 34. 性的マイノリティの方への取組

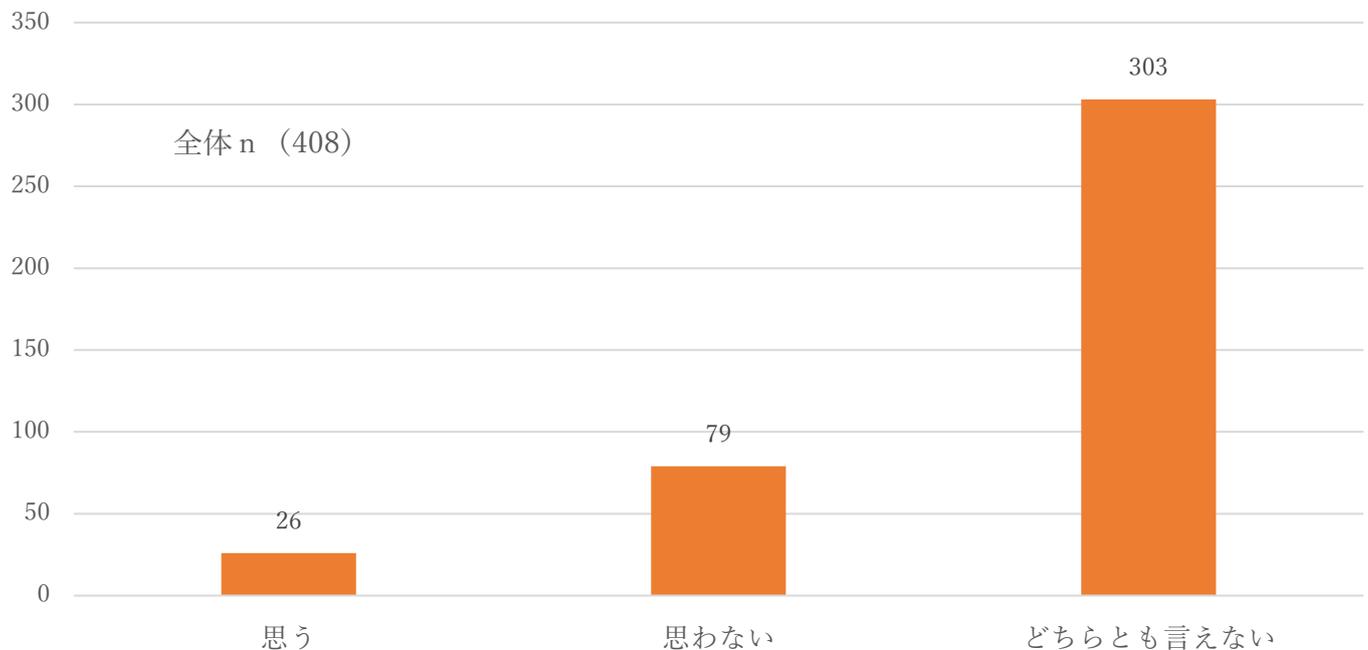
問 34 性的マイノリティの方の生きづらさ解消に必要なことは。(3つまで選択可)



- その他：
- ・性的マイノリティを無駄に嫌悪する意識をなくすこと。わざわざ言葉に出して嫌味等を言う必要がない。普通に同じ権利を行使できるだけでいいと思う。
  - ・法律改正(結婚)。
  - ・どう取り組めばいいかわからない。
  - ・人間同士お互い尊重し合うことを伝えていけば十分。性的マイノリティだけを特別にして取り組む必要はないと思う。
  - ・「他者に干渉しない、尊重する」感覚を幼い頃から教育する事かと思います。人が他者の領域を侵すから問題が出るのです。どんな容姿なのか、誰を愛しているのかなど、プライベートな部分に勝手に入り込む人がいるから生きにくい人が生まれると思います。特に年輩の方は当たり前のように「他者に干渉」し、それが悪いことだと分かっていません。

### 35-1. 村男女共同参画計画の推進について

問 35 計画が推進してきていると思いますか。



### 35-2. 35-1 の理由

問 35 その理由をお答えください。

#### ○思う理由 (n=26)

- ・よく頑張っている。
- ・時間をかけなければ進まないと思う。継続していくこと。
- ・役場の役職、議員の新人。
- ・「共同参画」にはまだ足りないが、「そうあるべき」という機運が醸成されてきている。
- ・少しですが変化が見られます。女性でも十分できることがあります。男女とも適材適所であることが大事。
- ・村というより社会全体で進んでいる。

## ○思わない理由 (n = 79)

- ・計画を知らない。他 13 名
- ・変化を全く感じない。他 7 名
- ・よくわからない。他 6 名
- ・消防団の女性団員への勧誘活動が少なすぎるから。
- ・計画策定委員や事務局が策定しただけの計画で、計画が村民に浸透していない気がする。また計画が計画倒れとなっているような気がするから。
- ・アンケートをまとめるだけではないと思う。村ではこういうことをしているともっとアピールすべき。
- ・中川村広報等で何をしているのか、どこまで達成できているのかを知らせてほしい。
- ・地方で小さい村だからか、家庭における男女の役割には古い習慣が根強いを感じる。男性女性どちらも幼い時からの家庭での父母のあり方、教育現場での役割や教え、地域での役割などの元に家庭生活を営んでおり、行政が男女共同を掲げても、それが家庭の中に普及していないように感じる。幼小中高の教育現場における考えの普及が若い世代の意識改革に繋がっていくのでは。
- ・もっともっと考えるには村内に住む人々に理解を問う場を設ける。しかしそれもコロナでできない、もっとその内容の詳しい人等講演を通して中身に力を入れること。
- ・何がこの5年で変化したのか具体的に示してほしい。その変化の中で女性は何%程会議等に参加していたのか？
- ・昔の教育、考え方から抜け切れず女性だから女の子だからという気持ちです。別に差別とも思わず、当たり前と思っています。
- ・多くの人が理解不足ではないか、またそれよりも内容を知らない人が多すぎるのではないか。
- ・努力をされていると思いますが、水面下という感じがして表に出てこないように思います。活動を具体的に報告してほしいです。
- ・まったく村民に浸透しているように感じない。地域活動のほとんどが今もって男性主体で行われており、女性の方々の知らないところで話が進んでいっている。

## ○どちらとも言えない理由 (n = 303)

- ・分からない。他 23 名
- ・内容をよく知らない。他 19 名
- ・中川村男女共同参画計画が策定されていることを知らなかった。他 16 名
- ・動きが見えない。他 5 名
- ・若者は改善されているが、老人についてはまだ進んでいない。他 3 名
- ・計画について詳しく知らないため、評価するのは難しい。
- ・中川村のそれは知らないが、県・国の施策としては推進されているのではと思う。
- ・自分が活動内容を知ろうと努力していないため
- ・アンケート(意識調査)、講演会以外のか活動があるのか。理解不足でよくわからない。
- ・「中川村男女共同参画パート4」等、様々な計画を策定して推進してきたと思いますが、自分自身もっともっと関心を持って学習していかないと答えがわかりません。
- ・中川村は高齢化で昔からの考えの方が多く、各家庭で頑張っている現代の若いお母さん達の苦勞が理解されづらい。生きてきた環境の考えを変えることが非常に難しく感じる。今でも男の子を産まなきゃだめだと地域の方に言われて辛い思いをしています。

- ・男女が平等である意味(必要性)より、公平であることの方が大切なのではないのでしょうか。
- ・相対的に考えると「男女共同参画」という言葉がかえって、男女の格差をつけているように思います。
- ・あまり関心がない(年寄りだからだと思います)。
- ・地域の人とのコミュニケーション不足。年齢によって考えが違う。若者は興味を持たない。今の若い社会人は自分のことで精一杯。ハラスメントも多く草食男子が増えた。
- ・あまりなじみのある言葉でなく、なんとなくそんな計画があるんだなあ程度のため。
- ・もう三年もコロナのため事業もなく会合もなく人と会うこともない時代となり、年寄りは仕方ないですが、若い人たちもとても理解することが難しい時代ですね。
- ・女性にいろんな場面で活動していただきたいが、古い慣習なのか外へ発信することがきらいなのか参加いただけない。特に意見を言う場面ではまだまだ男性の方が強い。しかし、この5年で少しは自分の主張を述べる女性も増えてきたと感じる。
- ・進んできているとは思いますが、地区の会合などの様子を見ると、まだまだ男性中心だと思う
- ・これからの若者に学習を重ねていけば必ず変わると思う。年齢を重ねている人たちは変わらない。
- ・昔に比べて、専業主婦(主婦)は減った気がするが、その理由が男女共同参画の活動の影響か、ただ単に働かないと暮らせないから働いているのかわからない。ただ、若干の理解は進んできているとも感じる。
- ・会合に参加するチャンスの有無。参加する移動手段。
- ・毎日の生活のなかでさほど以前より変わったと思わない。でも「共同参画」という言葉は耳にすることが多くなったのは、推進してきたのか？と思うこともある。新しい何かを言うことはまだまだ時間が必要なことな気がします。
- ・地区の奉仕活動はほとんど男性でした。夏の暑い中、冬の寒い中肉體労働するのは男性。まだまだこういった活動は男女平等にならないと感じました。一人ひとりが考え行動していかないと行政がいくら発信しても変わっていかない気がします。
- ・自分自身あまり意識できていないので計画が推進していることをあまり感じるができない。
- ・地域活動、PTAにおいてまだ意識付けがされていない感覚です。要職は男が就くのが当たり前の部分があります。また、PTAでは、女性副会長なる肩書きがあり、違和感を覚えます。
- ・自分の周りでは、男女共同参画計画という言葉しか耳にしていない。このことに対する意識があまりなかったように思う。
- ・社会の動きの中で変化してきていることは感じることはあります(LGBTQを意識した言葉の使い方等)。実生活の中で変わったことはないので、男女共同参画計画を意識したことがありません。
- ・令和4年度までが計画期間と言うこともあるかもしれませんが、村全体(村民)に事業が浸透しているとは思われない。積極的に参加していただける方を集めて推進してほしいと思います。村の中にも優秀な方が大勢いると思います。
- ・当村において、日頃の生活やすべての活動の中で男女の参画で改善すべきと思うようなことは見当たらない。少しずつ自然に変わっていくことが良いと思います。
- ・村の広報等で時々目にすることはありますが、自分自身の問題として感じることはできません。理想や目標を高く掲げていても村民一人ひとりに身近に感じられるようにも思いません。具体的事例を取り上げてほしいと思います。

## 36. 自由記述

あなたが日ごろ感じていることや今後希望すること等ありましたら、ご記入ください。

### 10代男性

#### 法・行政について

- ・もっと若者を支援したり、行政に取り入れる政策があれば自然と改善されていくと思う。

### 20代女性

#### 地区・地域活動について

- ・地区の総代やその他役員は男性の名前になっているが結局配偶者もサポートしているため個人名ではなく、家庭として担当すればいいと思う。

#### 慣習・しきたりについて

- ・親族の集まりでは必ず男性が座りっぱなしで女性が支度しています。いろんところで平等ではないと感じます。少しでも良い方向に向かっていけたらなと思います。

### 30代女性

#### 家庭・子育てについて

- ・二児を育てる母です。女性が生き生きと働ける社会になるといいと思っていますが、まだまだ家事や育児の割合は女性が圧倒的に多いと思います。保育園の送り迎えも、子どもが体調不良で休むのもほとんどがお母さんです。職場などに迷惑をかけてしまって、毎日を回すのが精一杯で、苦しい思いをしているお母さん達が少しでも楽になるような対策がほしいです。男性が家事や育児を「手伝う」という意識が間違っていることを社会全体で変えていけたらいいと思います。また、アンケートの中で地区やPTAなどの活動についての項目がありましたが、ほとんど男性が役職を占めているのが現実です。役職も男女平等であるべきだと思いますが、仕事と家事育児で精一杯の女性では手に負えない部分です。これができるようになるには男女が平等に仕事をしてもらえない給料をもらい、同じ量の家事や育児をして、夫婦で支え合いながら男性だけでも家庭が回せるように子ども時代から意識づけていくことが大切だと思います。
- ・子育て世代として感じることは、少子化の1番の課題は、男性の家庭生活での役割や必要性をもっと増やしていくことではないかと感じます。金銭補助や福祉の充実より、まずは男性がもっと家にいること、家にいる時間を増やすことではないかと。働き方改革もだし、とにかく中川村は夜の会合が多すぎて、家事育児を女性が担うのが当たり前になっている。会合の上、さらにナイターソフトや消防、組合活動など男性が週3も4も夜、家にいないことはおかしい。「男性が家庭で過ごす」為の策を色々と考えていかなければいけないかなと思う。

#### 地区・地域活動について

- ・地区の女性部というくくりを廃止してはどうでしょうか。男性、女性と分けることに時代錯誤を感じます。1人世帯の女性は地区の共同作業や寄り合いなどに参加するけれど、日赤奉仕団他女性だけの役があるのはずっと疑問です。地区によっては集会所の清掃は女性と決められている古い慣習が残っている地区もあります。いっそ全てフラットに男女が誰でもできるものに変更すべきだと思います。
- ・地区の活動で未だに男性が飲み食いするのを女性が給仕、裏方で働くという古い慣習がある地域があると聞いて愕然としている。小さい村で、高齢者も多いので古い考えにNoと言えない雰囲気もあるのかもしれない

いが、子ども達にその姿を見せることは教育上良くないと思う。その姿を見て育った子ども達は、それを普通のことと思い価値観が現代とどんどん合わなくなってしまう。変えていかなければならない。

- ・最近では育児休業を取得する方が増えてきているとメディアでも SNS でも聞くようになりました。男は外、女は家という昔からの風潮が時代の流れと共に変化していつているので、これから期待していきたいです。地区の活動はともかく、組長を決めたり、役員を決めたり…という昔からあるものに何のために誰のために、やりたがらない人に無理矢理やらせたり押しつけ合ったり、こういった無駄なやりとりが苦痛です。これによって、地区の団結に繋がったり、いいことがあるならわかりますが、何のために地区を分けているのか…未だ常会や地区に入るメリットがわかりません。

### 男女の違いについて

- ・性別に関わらず、お互いに不足を補い合うことが当たり前の世の中になれば、自然と男女共同参画社会へと繋がっていくのではないのでしょうか。
- ・何を持って男女平等か、基本的な部分の解釈が個々で同じか、認識に違いがないか定義があると良いなと思います。男女には明らかな違いがあり、だからこそその役割分担は必要と考えます。力仕事は男性、妊娠、出産は女性など、お互いできること、できないことがあり、すべてを折半することが平等と思いません。年代によっても考え方は時代背景など様々と思いますが、これから生きる若者が中川には少ないので、その若者や子ども達がこれからも中川に残りたいと思える環境になってほしいと思います。

### 情報提供・発信について

- ・今回、アンケートを回答いたしました…、そもそも「男女共同参画社会づくり」の為の活動は何をされているのでしょうか？その活動内容や報告はどこで見ることが可能でしょうか？村の広報誌でしょうか？今回のアンケートが無ければこのような取り組みがあった事すら存じませんでした。もっと情報発信をしていただければ身近なものになるかと思えます。

## 30代男性

### 法・行政について

- ・今の憲法、法律の改正。全年齢が興味を持てる環境作り。一つの市町村だけでなく、日本全体で取り組み人生を楽しめる社会になればいいと思う。若者が活躍できる制度が必要。

### 女性の活躍について

- ・女性活躍の場を増やすと言うが、子育てをしている女性にとって昇進などの責任を持つ職務に就くことは、負担になる可能性もある。いま置かれている立場で最適なライフスタイルを考え選択できる制度が、これからの男女共同参画につながるし、同時に少子化対策につながると思う。

### 慣習・しきたりについて

- ・地区付き合いや行政共に古い考えのままで進歩がない。移住者等は住みづらいと思う。また保育園や学校等の役員決め等もまだまだ男性中心の風土がある。平等感がない。もっと大きく変化させるべきだ。

### 情報提供・発信について

- ・もっと活動を村民へ伝えてほしい。
- ・男性の育休取得は中川村では何人程なのか知りたいです。「男女共同参画社会づくり」そのものが宣伝不足に感じます。本気で取り組むのであればもう少しやり方を見直さなければ変化はないに等しいのではないのでしょうか？一人ひとり考えるには中川村だけではなく、日本が変わらなければ無理な話だと感じます。

**40代女性****男女共同参画社会について**

- ・①「女だから」という理由で、正当に評価されないこと。②「男だから」という理由及び年功序列と既得権益に守られ、高く評価されていること。「男尊女卑」という言葉が意味するように、そして上記①②のことを当たり前のことと考え、その恩恵を受けてきた人たちの意識を変えることは、ほぼ不可能だと考えます。そして、度々ニュースになっている「LGBTQ」「性的マイノリティ」では、日本を牽引していくべき人たちが失言し、謝罪している現状。今から40年ほど時が流れ、自然淘汰された頃には「男女平等」が普通のこととなり、様々な偏見が今よりは少なくなっているはずですが。人の意識を変えることはほぼ不可能ですが、若い人たちや子ども達の未来のために【声を上げ続けること】は必要だと考えます。
- ・このアンケートをきっかけに男女共同参画計画を意識してみたいと思う。難しいイメージが合ったが、自分や身近な人たちに関係のある取組だと理解できた。
- ・男女共同参画社会は男性も女性もお互いのことを理解して助け合っていこうということなのかな？と思っています。これからは、男性、女性、LGBTQ、各年代、みんなのことを理解して助け合っていこう、という風になるのだと思います。そうしたら、名前(ネーミング) 変えなきゃですね。
- ・弱者ビジネスを助長させるだけの存在ならばいい。

**法・行政について**

- ・一人暮らし等の多様な家族暮らしに対応する行政の仕組み作りが大切。
- ・男女共同参画における目標値はあくまでもひとつの人権的指標でしかなく、本当に大切なのは「一人ひとりが大切にされる社会」だと思います。ですが、ある年代以上の方が子どものころから植え付けられた男女の意識、ジェンダーに関する意識は、啓発ぐらいでは絶対に変わらないと思うので、「意識」が世代交代するまでは、男性の育児休暇取得でも、役員の女性率でも、半ば強制的にやっていただくくらいでないと、男女共同参画はすぐには実現しないかなあとと思います。そこまでしてやったほうがいいのか？というと、「そこまでしてでも、やってよかったよね」といえるようにみんなで試行錯誤していくのが、いいんじゃないでしょうか？結果的に、とても生きやすい村になるかもしれません。

**男女の違いについて**

- ・男女の立場を対等とし、性別に縛られず一人ひとりの個性と能力が発揮できるようにとあるが、本当の意味での共同参画はどのようなことなのか。差別ではなく男女のイメージ。それぞれが得意、不得意があると感じる。過度な対応もよくないと思う。取り沙汰されるような不適切な行為は…。正しい知識が必要。幼い子への伝え方もあると思うので、幼いころから自他者のありのままを自然と認め受け入れ、大切にしていける社会が大切だと感じる。

**慣習・しきたりについて**

- ・特別な理由を持たない「古い慣習」は見直されていくと良いなと思います。

**40代男性****男女共同参画社会について**

- ・女性の地位向上の件は、女性自身が今のままでいいというようなケースもあり、大多数の女性がジェンダー平等を訴えているのかはわからない。どちらにしても、多様な生き方が認められる社会になってほしい。男性である私も、一家の大黒柱でなければならないというバイアスから逃れたいし、男・女に縛られないスペクトラムな生き方をしたいと思う。LGBT当事者の方は、依然として肩身の狭い思いをされていると思う。国をあげて法整備をするべき。自治体としては、アライとしての立場をもっと発信してほしい。また制服や

トイレなどのインフラ整備も。また、楽しみながら学べるシンポジウムを開いてほしい。中川村の魅力は「人」です。多様な村民の生き方を、行政がもっともっと尊重できれば、村民はもっと輝きます！！

- ・共同参画とは自らの意思で参画するものであって周りがお膳立てしてまで参画を促すのはちょっと違うと思います。それではいつまでもやらされている感が払拭できません。人はメリットのないことはしたがない生き物です。物理的なり精神的なり何らかのインセンティブを考えてほしいと思います。
- ・得意不得意があるのはどんな人にもあることで、それは性別にもあることは必然な事だと思う。女性脳男性脳があるので、女性の社長が日本には少ないからダメだという考えはどうなんでしょうか？すべてを欧米の考えに合わせる必要があるのでしょうか？それぞれの民族の価値観を尊重することも大切だと思います。日本の男女についての考え方をすべてダメと考える今の風潮がどうなんでしょうか？

#### 家庭・子育てについて

- ・男性の育児参加がもっと増えるように、社会が変わっていかないといけないと思う。

#### 地区・地域活動について

- ・まだ、村内や地区内の役職事等「男性だから」「女性だから」やって下さいといったことが多いと感じる。家族の理解も大事だが、男性も女性も同じようにできるように促していくべき。

#### 性的マイノリティ・人権について

- ・マイノリティ独自の得意分野を伸ばせる教育プログラム。
- ・人権が脅かされている今の時代、何か言ってもわかってもらえないこと、またそれを否定的に返す人等、普段から人権に対してもどかしさや憤りを感じています。誰もが自分が思っている事等を言える、そしてそれを理解してもらえる世の中に少しでもなってほしいと思います。

#### 40代回答しない

#### 教育について

- ・子どもの頃からの教育をしていかない限り意識が変わり、社会が変わっていくことはない。

#### 50代女性

#### 男女共同参画社会について

- ・性別ではなく「人」としてどう考えていくか。若い人たちは「性別」という事へのこだわりが少ないように思うので、若者の意見も積極的に取り入れるような環境作りが必要ではないか。高齢・年輩者はそれを受け入れる大きな器が必要。世代間ギャップ、考え方の違いはどうにもならないと思うので。
- ・ニュース(新聞)など見ていると取り上げられていて、男性女性としての壁がなくなりつつあるのかなあとは感じますが、性的少数者の理解については自分も含めてもっと深めていく必要はあると思います。
- ・このアンケートから何か結果が出ているのでしょうか？知らないだけかもしれませんが、全体的に活動があるのか、ないのか見えてこない。5年経ってるがアンケートただけで村で強力に「この活動している！」という姿は見えないです。これって何か役に立っているのですか？
- ・男女のあり方については、平等である事が正しいのではなく、それぞれの考えや価値観により対応するのが望ましいと思います。

#### 家庭・子育てについて

- ・我が家のように夫が仕事、妻は家事と分業して過ごしてきたため、夫の家事力がない、そんなシニア男性の料理教室があったら(本人の希望もありますが)思ったりします。
- ・夫の親との同居。男性が家事をすると、それは女性がやることだからと言われるときがあった。社会全体で男女平等となっても、昔ながらの個人の考えはなかなか変えることはできないから、まだまだ時間が

かかると思う。

### 地区・地域活動について

- ・地区の昔ながらのしきたりの悪い所が本当にイヤになる。例えば神社の掃除に夫のかわりに行くと女は社務所の中には入っちゃいけない。女は神事に参列するもんじゃないと言われ参列したくてするわけじゃなくて夫の代わりだからと思っての事。こんな古臭いお付き合いは本当に困ります。
- ・小さな村であるのだからもっと女性が活動参加できる場面があってもいいと思うが、実際は地区活動を例にとっても男性のみで決定していることが多々あり、女性には事後決定報告のみ。それでは良くなろうと、良くしていこうという考えが起こらない。会議資料等を事前配布して各家庭で検討後に代表して1名が参加決定の方が共同、平等になるのではないかと思う。

### 法・行政について

- ・自分の役割を全うすること…今は仕事で自分の能力を発揮する努力をしている。結婚した際に夫の姓を名乗らなくてはいけないことに手間であるし、抵抗もあった。なぜ別姓を認めないのかと30年前にも感じましたが、何一つ変わっていない現実がっかりします。
- ・両親ともに常勤の家庭は、中学校の部活に入りづらい、村のスポーツクラブにも入れない、送迎が必要で、夕方は仕事が終わらない。小中学校、文化センターから遠い家庭は無理。中学校の自転車通学はほとんどしていない(自転車通学でも自転車購入しない)。親の送迎が多い、特に女の子は。迎えてチャオにいと年寄りから苦情が来る。自転車通学ではなくバス通学も考えたらどうか？村バスはほとんど人が乗っていない。中学でバスに乗りなれていれば、高校もバスが使いやすい。高校も親の送迎又は70歳80歳が送迎で危険である。

### 情報提供・発信について

- ・これからも続けていくことは良いことだと思います。もっともっと村民に知ってもらえればいい。特に若い世代。
- ・自分の無意識にも古い慣習から影響があります。それらに気付いて、周囲に投げかけていくことが必要だと思います。
- ・活動されていることがあまり知らなかったので広報等での周知。名前が難しいですね…。親しみのある名前はどうか。

## 50代男性

### 男女共同参画社会について

- ・すでに男女共同参画社会はできていると感じますが…？
- ・国ぐるみで女性を軽く見るのがまだ残っている。若い世代では少ないと思うが、年寄りにその傾向が多い。政治を見てもよくわかる。国全体で取り組む話だと思う。
- ・自分は「男女共同参画社会づくり」の具体的な目標や到達点が想像できない。
- ・世の中の変化が早い。

### 女性の活躍について

- ・女性が公の場に、自らもっと出てほしい。

### 情報提供・発信

- ・具体的な分かりやすい活動をもっとやってほしい

**60代女性****男女共同参画社会について**

- ・時代って変わるんですね。
- ・男性の意識改革をすることが一番大切で難しいと思います。男と女のそれぞれの良さを理解し、いろんな選択肢があるといいと思います。同じ事をするのが平等とは思わないが。
- ・犯罪や生きづらさを感じる事がなくなる社会であってほしい。男女のすべてが平等であると思わないが、役割として理解し合えること、協力し合えること、認め合えることを小さい時から感じられる(教えてもらえる)場面を多く作ってほしい。
- ・世の中変わったというか、変わってきていると思います。働く女性を育てようと言っていた頃と違い、今は働いて当たり前の世の中ですが、相変わらず男性との賃金差があったり、女性子どもの貧困だったり等々、みんなで支え合えるといいですが…。

**法・行政について**

- ・各集落から1人ずつ推進員を選んでもらい、村を挙げて取り組む姿勢がほしい。

**女性の活躍について**

- ・古い慣習に縛られてなかなか進みにくいことがあると思います。世代の交代や教育を進めながら少しずつ変化していく、時間のかかる問題だと思います。一人暮らしが始まり、自分(女性)の非力を痛感しています。女性も力をつけていく必要があると思いますが、それでも体力的に無理もあり「世間の目」もあり、難しいことが多いと感じています。
- ・結婚、出産、子育て、それが終われば今度は介護が始まってきます。女性は必然的に決められた道のような気がします。どこかで寄り道ができるような生活があれば良いなと思っています

**地区・地域活動について**

- ・地域活動において、どんな役職でも女性にできない事はないという人がいますが、実際にやってみるとハラスメントとを感じるような無神経なことを言われることがあります。当然男性と同じようにはできないこともありますし、またやりたいとも思いませんが、地方独特の環境のせい、未だに理解されていない人が多いと感じます。

**60代男性****男女共同参画社会について**

- ・特にないが、女性にも男性に頼ってもらいたい。
- ・男女共同参画って何かな？男女が一緒に何かすれば、この事業が進められたと評価されるの？
- ・昨日のニュースで首相秘書官の発言がありましたが、そのように思っている人はまだまだたくさんいる。たとえば国会議員の杉田水脈氏のようにこのような人が当選するような国ではまだまだだだと思います。
- ・元々人を思いやる気持ちがあれば男女云々などない。基本的な人間間のコミュニケーションがあれば良い。根本の改善を期待します。
- ・日本の伝統・文化、日本人としてのアイデンティティを大切にしながら進めてほしい。急激な変革は日本民族にふさわしくない

**地区・地域活動について**

- ・これからは「極少子超高齢社会」になり、高齢者だけの世帯が増える。男女の寿命差を考えると高齢女性だけの世帯がどんどん増えるのではないかと。地区の運営などを考えたとき、高齢であっても男性は「役」をできる限りやろうとするが、女性はそういうことに関わらず、「お友達」と仲良く生きていくのではないかと。

トレスがなくて良いかもしれないが共生・互助と考えたとき、それで大丈夫なのかなと思います。

- ・地区総代、各役員は男より女の方が向いていると思う。男世界から違った観点で良いかと思う。

#### 法・行政について

- ・変えようと思っても変わるものではない。時代は確実に変化してゆく。その流れを見極め、啓発活動を押し進めること。
- ・地域、行政がもっともっと意識改革をして取り組む、時間はかかる！

#### 男女の違いについて

- ・男女が共同して参画し、よりよい社会を築いていくことは非常に重要なことである。ただし男性と女性には生まれ持った違いがあり(例：体力、体格の違い等)その点を無視して「何でも男女共同」とする考えは危険だと感じる。男女の「差別」は不要だが、男女の「区別」は時と場合によって必要となる。極度の「ジェンダー平等」思想は危険であり、村でもその点は留意すべきと感じる。「ポリティカル・コレクトネス」の研究も近年進んでおり、この点も踏まえたうえで向こう5年間の計画を策定していただきたい。

#### 情報提供・発信について

- ・仕事と家庭、育児と介護など色々な問題があります。約7割が共働きで生活している状況の中で最近、フレックスタイム制度を導入している会社が増えてきたと思います。とても良い働き方改革の一つだと考えます。社会にもっと導入PRをお願いしたい。
- ・「男女共同参画社会づくり」の目標がわからない。何をしたいのか、改善改革したいのか、どこまで、いつまでにするのかよくわからない。理解と姿ある情報発信をしてほしい。

### 70代以上女性

#### 地区・地域活動について

- ・例えばの話ですが、地区等の作業があった場合、杖が必要な方が出席しても男性ならば一人前、働き盛りの女性だと半人前扱いという雰囲気が全体的にもっているといつも感じています。

#### 法・行政について

- ・昨年、村議会選挙があり、無投票で終わりました。女性の当選者は1名でした。各種審議会等女性のなり手が少ないのは、残念です。問26にありましたように教育、学習が特に必要と考えます。
- ・中川村が住みよくて、暮らしやすくなってほしい。今は問題なしです。地区の方々も問題なしです。村外から見た中川村の問題については知りませんが、中川村大好きです。古い慣習とか隣組のあり方とか、とにかく時代に合わせて変化を良しとする中川村であってほしいです。
- ・みんなで楽しく明るい社会づくりに努めたいと思います。高齢者でも参加できる行事、集まりコロナ禍で縮小されていましたが、行事計画等をお願いします。
- ・同じ方が係をしていて、知らない方が多いのではないのでしょうか？多くの方に知ってもらうには係の方を半分くらいずつ変えた方がいいと思います。
- ・私たちの年齢、老いて子どもの世話になる年齢になり、今の住みよい中川村、若いみんなが帰ってきたい村でありますよう望みます。問33社会的に問題になりつつあり中川村でも悩んでいる人に寄り添える取り組みが必要になると思います。
- ・説明の話や記事が何でも横文字の言葉で理解できないと思います。新聞を読んだり、テレビ等でも気にかけて読んでいると少しは理解できますが、新しい言葉がどんどんできてわからないことばかり国会でも説明でも横文字で話され、理解には程遠いことばかり。
- ・年寄りにこういうアンケートは関係ないと思う。
- ・アンケートとして年齢での考え方の相違が多々あると思いますので、なんとも言えません。

### 女性の活躍について

- ・女性が働きやすい差別のない世の中になる社会を希望します。
- ・私の40代の頃、この企画が立ち上がったように思います。当時は若くて、積極的に会合にも出たり、考えたりしましたが、この年(80歳)になるとあまり感じることも少なくなり、関心も遠のいてしまいましたが、女性の進出を進める派です。

### 男女の違いについて

- ・男性は女性よりも力があるし、機械も扱うのは上手だし、どうしても共同と言ってもできないこともあるし、無理にしなくてもいいと思う。すすめるならあくまで自然体に…。
- ・男性と女性では体力の差等があるのですべてに平等とゆうのは難しいと思います。
- ・男女が同じようにすることが平等とは言えない事もたくさんあると思います。母性、父性ということが変わってくることもあると思います。それぞれの特徴を活かして、協力し合える事が大切だと思います。
- ・学校・地域で「男女共同参画」をやっていただくことが大切だと思います。男女共同参画はすべて男女が同じ事をするということではないと思います。適材適所でそれぞれができること、やりたいことを十分に発揮できる場所を作ることだと思います。自由に意見を言える雰囲気を作って下さい。

### 情報提供・発信について

- ・男女共同参画の目標、目指しているものがはっきりわからない。今まで取り組んできたもの、達成したものをはっきり表してほしい。このアンケートの芯がまったく見えない。70歳の私にして見れば世の中十二分に男女平等ではないかと思えます。女性、男性の仕事、世の中の位置、役割は違って当然と思えますが古い考えでしょうか。
- ・有線等で男女参画のお知らせを聞くと頑張っているんだという意識があり、安心感を覚えます。

## 70代以上男性

### 男女共同参画社会について

- ・なんとなく「他人事」と感じることや自分は今もう「老人」だから「あまり関係ない」というような気持ちがあるのは確かです。ある年齢以上の人には今まで過ごしてきた年数があると思います(我々が夢中で働いてきた時代は男社会でした)。そんな経験を拾い上げる場があればいいのでは？
- ・個々が尊重される社会が必要と思う。一人ひとりが違って良いのだという意識をみんなが持つことが大事。
- ・少子高齢化、人口減少。みんなで助け合うことの必要性がある。
- ・今は老人にとって希望であっても、どうすることもできない。
- ・男女共同参画は提唱されて日が浅いため、現段階では男女・年齢等により理解度がまちまちである。行く末が必ず必要と考えるならば、じっくり年齢に相応した新たな社会づくりの企画推進を重ねていく事が重要ではないか。宇宙旅行が可能になる時代、男女共同参画が必要と考えるならば必ずしも共同参画社会は、男女同じ考え方ではなくても、身体的違いを考慮した共同参画社会が必要ではないか。

### 地区・地域活動について

- ・世帯数、人口減少なので地域の役員を男女ともに減らしてほしい。役場の人数をもっとふやして役場にやってほしい。地域の長になっているが、一度役員に入ってしまうと15年なんらかの役員をやりながら毎年1年、1年が過ぎていて大変だがいざ女性に話を持っていくととてもいやがり、困っています。

### 法・行政について

- ・理解されても実行、実践につなげられるようになるには年月が長くかかるとは思います、担当される皆さんの努力をお願いします。
- ・うわべだけで「男女共同参画づくり」を唱えていてもダメだし、たたき台的考察を交えて考慮していくことが望まれる。
- ・日ごろの啓蒙活動かな～
- ・わかりやすい設問にしてほしい。
- ・女性議員が一人しかいない!!

### 女性の活躍について

- ・女性の積極的な行動も必要かと思う。

### 慣習・しきたりについて

- ・伝統的に続いてきた習慣を変えるには今までたどってきた時間が必要になると思う。意識して変えられる事柄でない。

### 情報提供・発信について

- ・共同参画の社会とはどんなに大切なことかテレビやマスコミの情報だけでは伝わりにくい。